

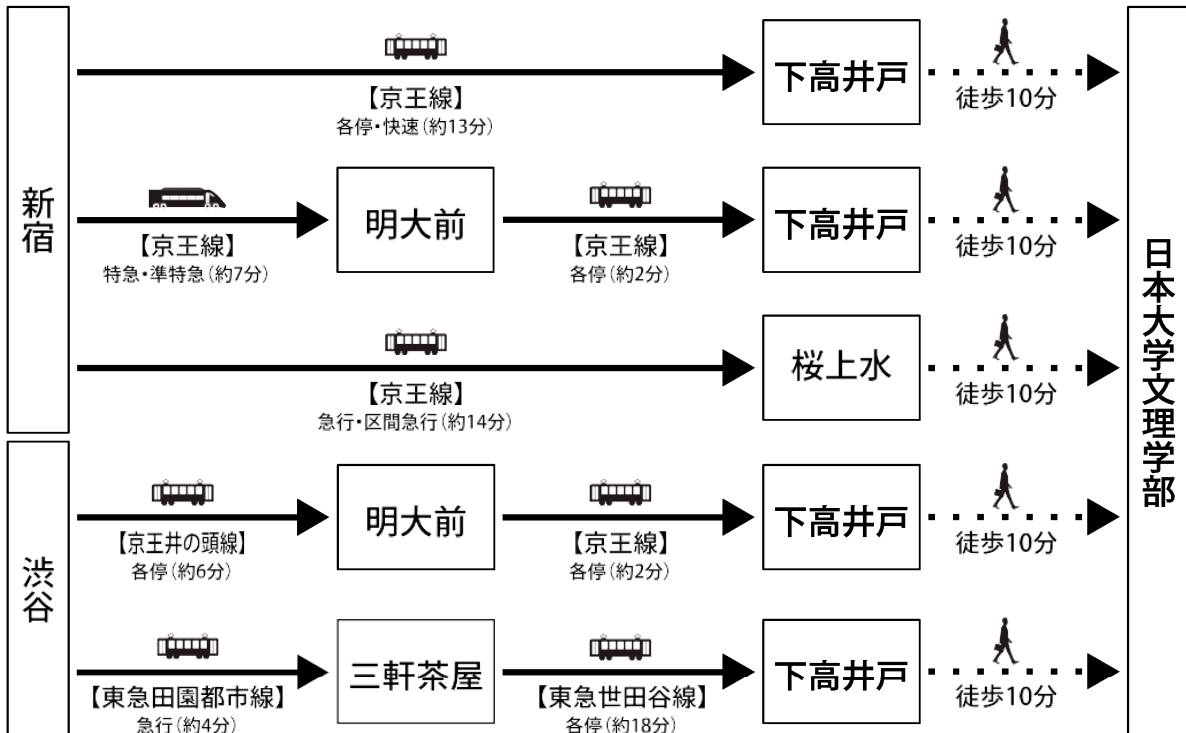
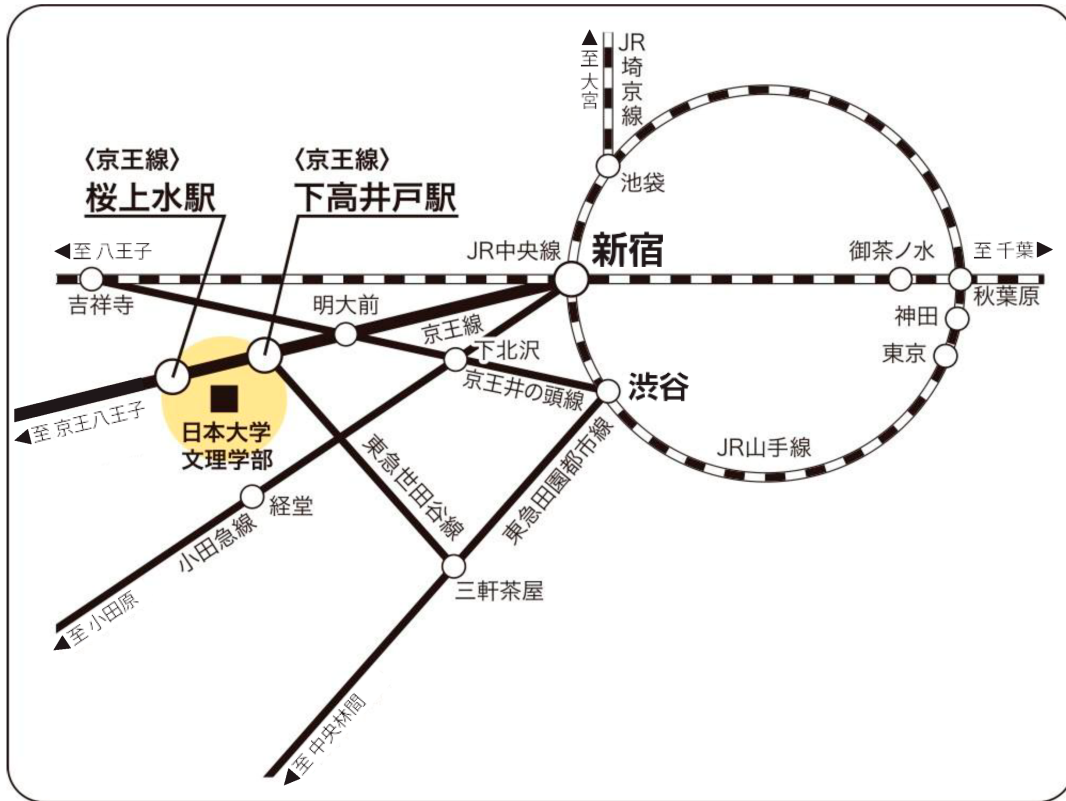
日本社会心理学会  
第 65 回大会プログラム

日本大学文理学部

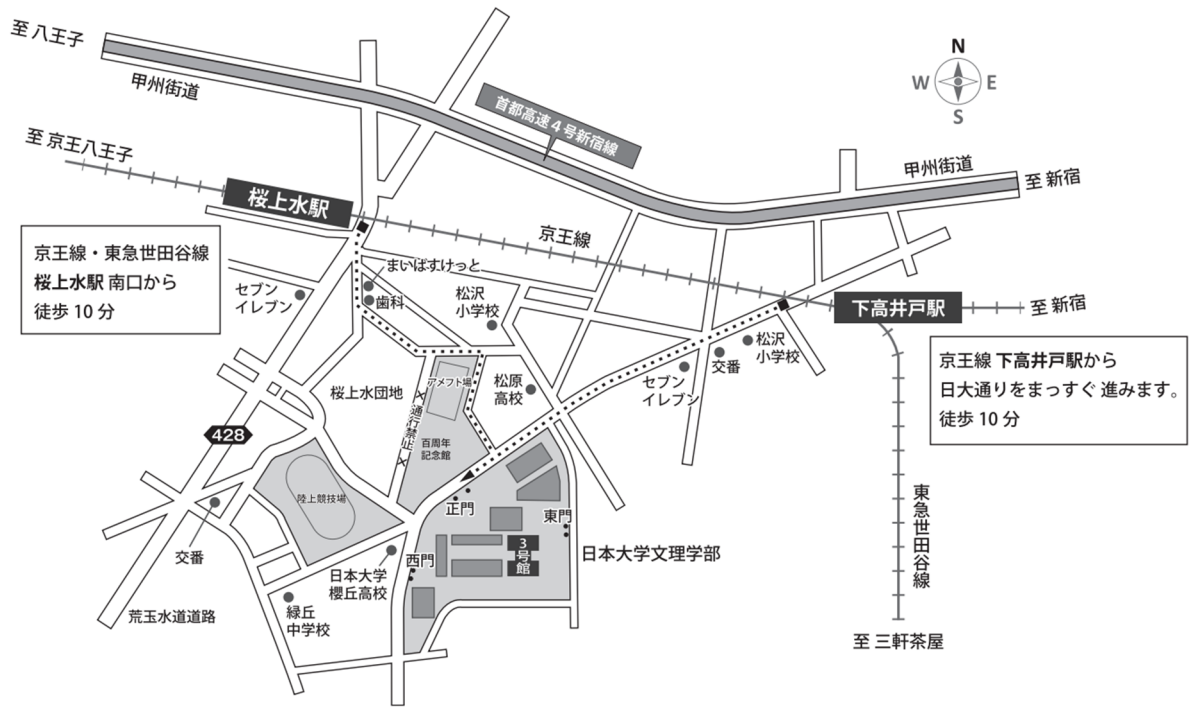
2024 年 8 月 31 日 (土)・9 月 1 日 (日)



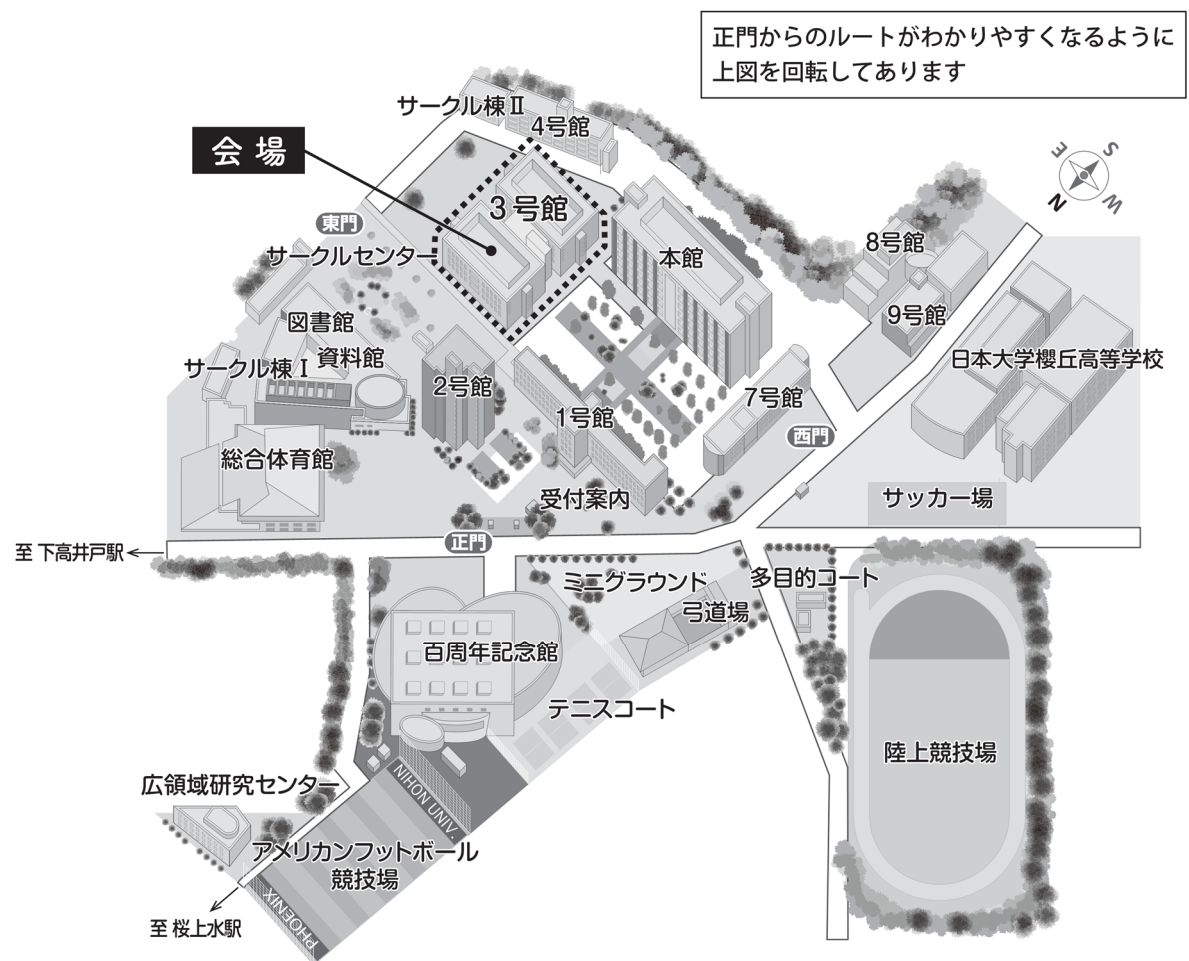
日本大学文理学部 交通アクセス



日本大学文理学部キャンパス周辺図



日本大学文理学部キャンパスマップ



会場フロア案内

日本大学文理学部 3号館

1階 総合受付

当日参加申込み受付

非会員シンポジスト受付

名札再発行受付

発表変更受付

各種問合せ

クローク

ポスター発表受付

ポスター発表

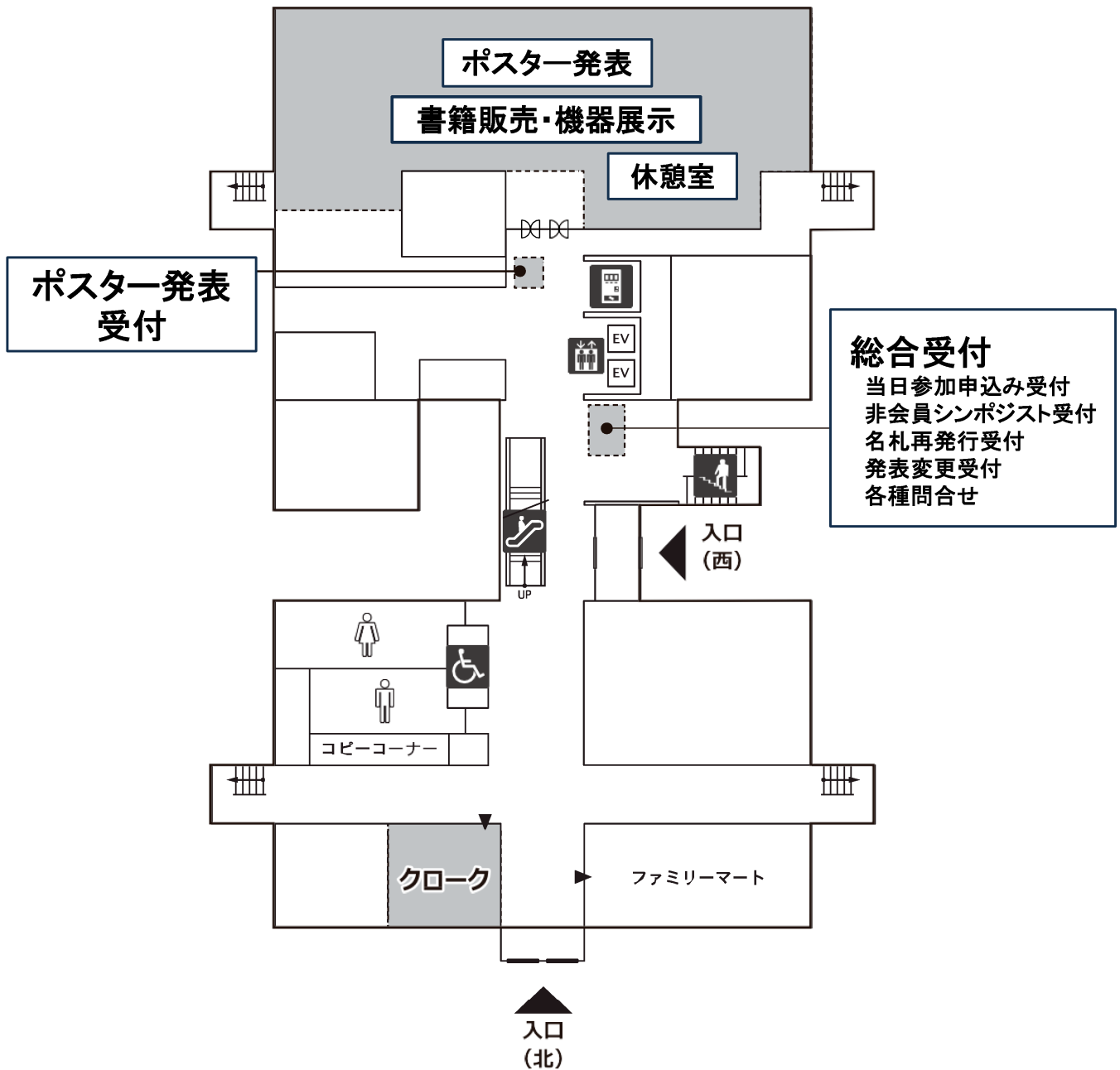
書籍販売・機器展示

休憩室

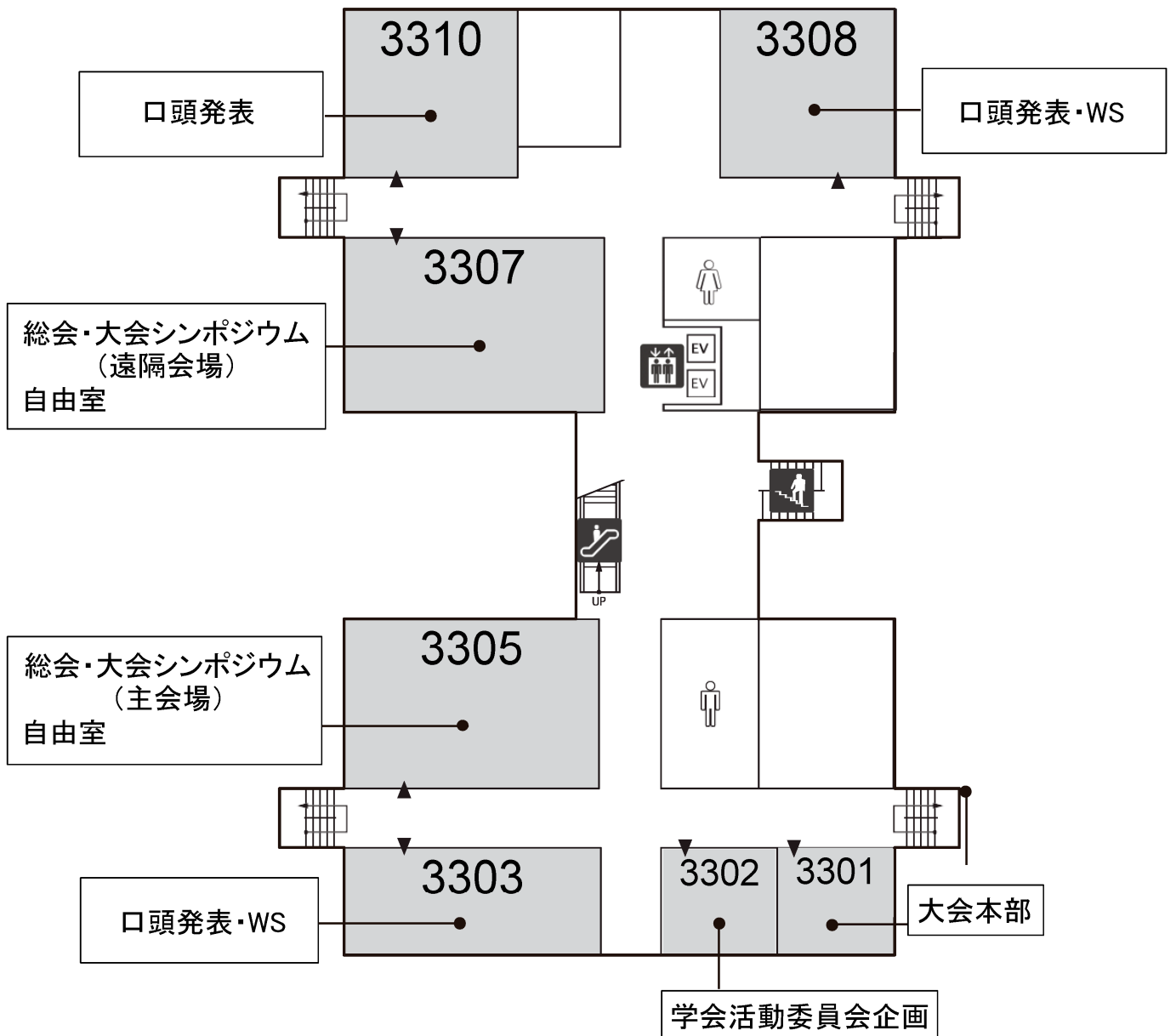
3階	3301	大会本部
	3302	学会活動委員会企画
	3303	口頭発表1・4・7・10・13・16
		WS01
	3305	総会・大会シンポジウム（主会場）
		自由室
	3307	総会・大会シンポジウム（遠隔会場）
		自由室
	3308	口頭発表2・5・8・11・14・17
		WS02
	3310	口頭発表3・6・9・12・15・18

会場フロアマップ

1階



# 3階



## 大会に関するご案内

### 1. 受付

受付は、両日ともに9時00分から3号館1階にて行います。予約参加の方は、プログラムに同封してある名札を必ずご持参いただき、受付付近で大会用ネームホルダーを受け取っていただければ、受付の必要はありません(名札を紛失された方は受付でその旨お申し出ください)。当日参加の方は、受付で参加申込用紙にご記入いただき、参加費をお支払いください。大会用ネームホルダーを受付付近にご用意いたしますので、ご自身で名札にお名前を記入してください。大会会場内では、名札を必ず着用してください。当日参加の名誉会員、臨時会員、賛助会員の方は受付にお越しください。

### 2. 諸費用

①大会参加費(当日)	正会員(一般)	9,000 円
	正会員(院生)	5,000 円
	準会員・学部学生(要学生証呈示)	2,000 円
	臨時会員	9,000 円
	名誉会員	無料
②論文集購入費(当日)		6,000 円

※名誉会員の方は、大会参加費・論文集購入費は無料です。

### 3. 総会・表彰式

1日目の11時15分より3号館3階3305教室を主会場、3307教室を遠隔会場として開催します。いずれの会場でも、軽食を用意します。

### 4. 研究発表・ワークショップ

口頭発表とワークショップは、3号館3階3303教室、3308教室、3310教室で行います。

ポスター発表は、3号館1階のカフェテリアで行います。カフェテリアには書籍販売・機器展示コーナーと休憩室を併設します。

### 5. 準備委員会・大会運営委員会共同企画シンポジウム

1日目の13時00分より、3号館3階3305教室を主会場、3307教室を遠隔会場として開催します。



## 6. クローク

クロークは、3号館1階 北入口付近に設置します。お預かり時間は、1日目は9時00分から18時00分まで、2日目は9時00分から16時15分までです。必ず当日中にお引き取りください。貴重品やパソコンはお預かりできません。

## 7. 休憩室・書籍販売・機器展示

大会期間中は、休憩室と書籍販売・機器展示コーナーを3号館1階のカフェテリアに設けます。休憩室では飲み物と小菓子をご提供します。休憩室の開室は1日目は9時00分から17時30分まで、2日目は9時00分から16時15分までです。

## 8. 昼食・売店等

1日目・2日目ともに、3号館3階3305教室と3307教室で軽食を用意します。1日目は、総会の開催時間11:15-12:45に、2日目は、11:30から用意します。

## 9. 喫煙場所

3号館の北出入口をでて右手方向の東門(閉門中)付近に喫煙所があり、加熱式たばこ等を使用することができますが、紙巻きたばこは全面禁煙です。

## 10. 託児サービス

大会期間中、月齢2ヶ月以上12歳(小学校6年生)までのお子様を対象とした託児所を設置します。時間は、1日目は9時00分から17時30分まで、2日目は9時00分から16時30分を予定しています。場所は申込者に別途お知らせします。申込方法等は「託児のご案内」ページ、大会Webサイトをご参照ください。

## 11. 掲示板およびコミュニケーション・ボード

掲示板とコミュニケーション・ボードを、3号館1階の受付付近に設置します。大会本部からの連絡事項を掲示します。また、コミュニケーション・ボードには、研究に関する事柄であれば自由に掲示できます。

## 12. ソーシャルメディア利用についてのお願い

ソーシャルメディア(X(旧Twitter)やFacebookなど)において、第三者が、研究発表の内容を録音・録画・撮影したり、中継・実況・報告等をオンラインで公開する場合は、たとえ用途が個人用であったとしても、事前に発表者の許可を得てください。また、発表者も、特にそれを抑制したい場合には、ご自身の態度の明示にご協力ください。参加者相互が気分を害することがないように、充分にご配慮ください。

### 13. 無線 LAN 接続について

本学では、eduroam により Wi-Fi 環境を利用できます。eduroam とは、世界中にある eduroam 参加機関でキャンパスの無線 LAN (Wi-Fi) を相互に利用できるサービスです。事前に所属機関で eduroam アカウントをご確認の上ご利用ください。

### 14. スタッフ・大会本部・緊急連絡先

スタッフは STAFF と書かれたネームホルダーを身につけています。ご用の際はお気軽にお声がけください。大会本部は、3 号館 3 階 3301 教室に設けます。会場外からの緊急のご連絡は、[jssp2024.nichidai@gmail.com](mailto:jssp2024.nichidai@gmail.com) までお願いします。

### 15. 学会活動委員会企画

2 日目の 12 時 10 分より、3 号館 3 階 3302 教室で学会活動委員会企画「ランチタイム・ワールドカフェ」を開催します。大会 2 日目の昼休憩の時間を利用して、ワールドカフェ形式（『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法）を用いて、ファシリテーター（学会活動委員会委員および会員有志）を交えて、それぞれのテーブルテーマに応じて、対話をできるようにします。テーマは、就職やワークライフバランス、キャリアパス、大学業務、共同研究のノウハウなど、多様なトピックスを予定しています。参加者には会場で軽食の配布を行います。事前の参加申込みが必要です（定員に達し次第、申込みを打ち切ります）。詳しくは、学会のメーリングリスト等でご確認ください。

### 16. 常任理事会・理事会・編集委員会

常任理事会・理事会・編集委員会は、大会前日の 8 月 30 日に、日本大学文理学部キャンパス本館 2 階 02010 室で開催される予定です。詳しくは各連絡用メーリングリストでご案内します。

編集委員会	13:00-14:00	本館 2 階 02010 室（認知・社会心理学実験・実習室）（東北角部屋）
常任理事会	14:15-15:00	〃
理事会	15:00-17:00	〃

※控室として本館 3 階 03010 室（基礎心理学実験・実習室）（東北角部屋）を用意しますので、ご利用ください。

## 発表者へのご案内

### 1. 口頭発表

#### 受付と発表準備

発表者は可能な限りセッション開始 10 分前までにご来場ください。座長は全発表者の来場を確認してください。プレゼンテーションに備え付け PC をご利用の場合はデータをデスクトップ上にコピーしてください(セッション終了後すぐに準備委員会の責任において削除します)。ご自身の機器をご利用の場合は、必ずセッション開始前に接続確認をしてください。

#### 発表成立の要件

(a)発表論文集への論文掲載、(b)当日の発表と討論への参加の両件を満たすことで、公式発表として認められます。当日の発表と討論は、責任発表者(プログラム中の○印)が行ってください。

#### 機器

各会場にはプロジェクタとスクリーンが設置されています。ノート PC (OS: Windows10, Microsoft Office PowerPoint2019)を用意します。データは USB メモリでご持参ください。Mac や iPad 等の場合はお手持ちのものをお使いください(プロジェクタとの接続アダプタはご用意できません)。ご自身の機器をご利用の場合は、必ずセッション開始前に接続確認をしておいてください。レーザーポインタを準備します。

#### 時間

口頭発表での 1 件あたりの持ち時間は 15 分で、発表時間 12 分、質疑応答 3 分です。時間厳守へのご協力をお願いします。発表中は、以下のとおり合図をします。

1 鈴: 10 分経過,    2 鈴: 12 分経過(発表終了),    3 鈴: 15 分経過(質疑応答終了)

#### 配布資料

各自で必要と思われる部数をご準備の上、発表会場にご持参ください。3 号館 1 階のクロック付近にコピー・コーナーがあります。無料(広告付き)およびコイン式が利用できます。大学が夏季休業中のため用紙切れ等、利用できないこともありますので、事前にコピーし、持参されることをお勧めします。セッション開始前に配布資料を会場係にお渡しいただければ配布をお手伝いし、セッション開始後は会場出入口付近に置かせていただきます。

## 会場レイアウト

会場により、座席配置等が異なります。口頭発表会場は、3号館3階3303教室は縦長、3308教室と3310教室は横長です。いずれも座席定員は150人です。

## 2. ポスター発表

### 受付

発表者は、セッション開始5分前までにポスター会場前の発表受付にお越し下さい。発表者用のネームプレートをお渡しします。受付は、各セッション開始20分前から開始します。

### 発表成立の要件

(a)発表論文集への論文掲載、(b)発表が割り当てられたセッションでの90分間のポスター掲示、(c)指定された45分間の在席、および、(d)質問者との個別討論への参加の4件を満たすことで、公式発表として認められます。当日の発表と討論は、責任発表者(プログラム中の○印)が行ってください。

### 掲示

ポスターは「A0サイズ縦長」以内としてください。パネル上部に発表番号を掲示してありますので、所定の位置をご利用ください。画鋲はポスター会場にご用意します。ポスターの最上段には「題目」、「氏名」、「所属」を明記してください。

発表者は、セッション開始時刻までにポスターを掲示してください。セッション終了後は速やかに撤収してください。両日ともに、最終セッション終了後、撤収されなかったポスターは会期終了後に大会準備委員会が廃棄します。

### 在席責任時間

1つのセッションは90分です。在席責任時間は、発表番号(Pで始まる4桁の数字)が奇数の方は前半の45分間、偶数の方は後半の45分間です。

## 3. 連名発表者による代行と発表取消

責任発表者がやむを得ない事情により欠席する場合、準備委員会の事前の承認を得た上で、連名発表者が発表を代行することができます。承認を得ていない場合、公式発表として認められないことがあります。また、口頭発表において発表の取消があった場合、その後の発表スケジュールの繰り上げは行いません。座長の指示に従い、討論や休憩などの時間にあててください。代行や取り消しについては、早めに準備委員会までご連絡ください。

## 4. ワークショップ

### 時間

1 企画全体で 90 分とします。企画者や司会者のもとで自由に進行していただきます。終了時間は厳守してください。

### 機器

各会場にはプロジェクタとスクリーンが設置されています。ノート PC (OS: Windows10, Microsoft Office PowerPoint2019) を用意しますので、データは USB メモリでご持参ください。Mac や iPad 等の場合はお手持ちのものをお使いください(プロジェクタとの接続アダプタは用意できません)。ご自身の機器をご利用の場合は、必ずセッション開始前に接続確認をしておいてください。レーザーポインタをご準備します。備え付け PC をご利用の場合はデータをデスクトップ上にコピーしていただいてもかまいません。セッション終了後すぐに準備委員会の責任において削除します。

### 配布資料

各自で必要部数をご準備の上、発表会場にご持参ください。ワークショップ開始前に会場係にお渡しいただければ配布をお手伝いし、ワークショップ開始後は会場出入口付近に置かせていただきます。

### 会場レイアウト

会場により異なります。3 号館 3 階 3303 教室は縦長、3308 教室は横長です。いずれも座席定員は 150 人です。

### 打ち合わせスペース

3 号館 3 階 3305 教室と 3307 教室は、1 日目の総会と大会シンポジウムの時間を除いて、自由に利用できます。ワークショップの打ち合わせにご利用ください。個室を希望される場合、大会準備委員会までご連絡ください。

## 5. ご連絡・お問い合わせ

大会準備委員会へのご連絡は、E-mail ([jssp2024.nichidai@gmail.com](mailto:jssp2024.nichidai@gmail.com)) でお願います。大会開催中は、総合受付または大会本部(3 号館 3 階 3301 教室)にお越しいただいても結構です。交通機関の遅延や事故等による不測の事態により、ご自身の研究発表セッションの開始予定時間に間に合わない可能性が生じた場合は、なるべく早くご連絡ください。

## 託児のご案内

大会期間中、月齢2ヶ月以上12歳(小学校6年生)までのお子様を対象とした託児室を設置します。託児室の利用を検討されている方は、以下をご覧になり、必要な情報を大会準備委員会まで電子メールでお知らせください。当日の要領など詳細については個別にご連絡させていただきます。ご質問なども遠慮なくお知らせください。

準備の都合上、お申し込みは 8月16日(金) までにお願ひします。この日までにご予定がはっきりしない場合はお早めにご相談ください。

### 1. 託児料

1日につき1,000円

### 2. 託児時間

1日目:9時00分～17時30分

2日目:9時00分～16時30分

※お食事の際は、保護者様に一度お引き取りいただきますようお願いいたします。飲み物やおやつについては、必要であればお預かりいたしますので、ご用意ください。1歳未満のお子さんの場合は、事前に個別にご相談させていただきます。

### 3. 託児場所

日本大学文理学部キャンパス内(具体的な場所はお申し込みをいただいた方に別途お知らせします。)

### 4. 託児委託先

株式会社明日香子育てサポート事業部

URL:<https://www.g-asuka.co.jp/event-hoiku/>

### 5. ご連絡いただきたい内容

- ①申込者とお子様の氏名(ふりがな)
- ②お子様の大会時の年齢(3歳未満の場合は月齢まで)・性別
- ③託児予定日・時間
- ④会期中の緊急連絡先
- ⑤アレルギーなど注意する必要があることがら
- ⑥1歳未満のお子さんの場合、授乳や離乳食等に関するご要望(折り返しご連絡・ご相談いたします)

### 6. 申し込み先

大会準備委員会 [jssp2024.nichidai@gmail.com](mailto:jssp2024.nichidai@gmail.com)

## 7. 申し込み締め切り

8月16日(金)

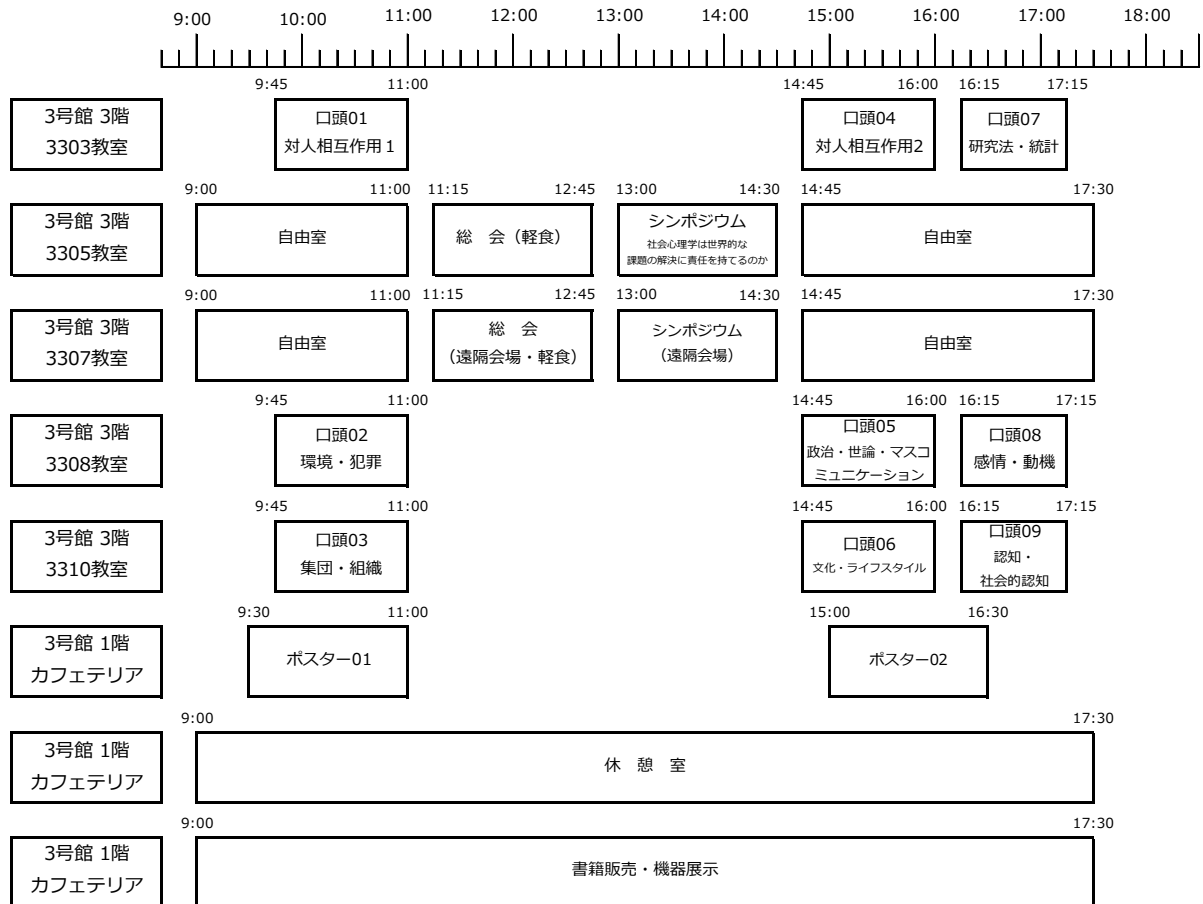
この日までに予定がはっきりしない場合は、その旨を早めにご相談ください。

### 備考

本サービス実施には日本社会心理学会の大会時託児室設置費補助金を活用しています。

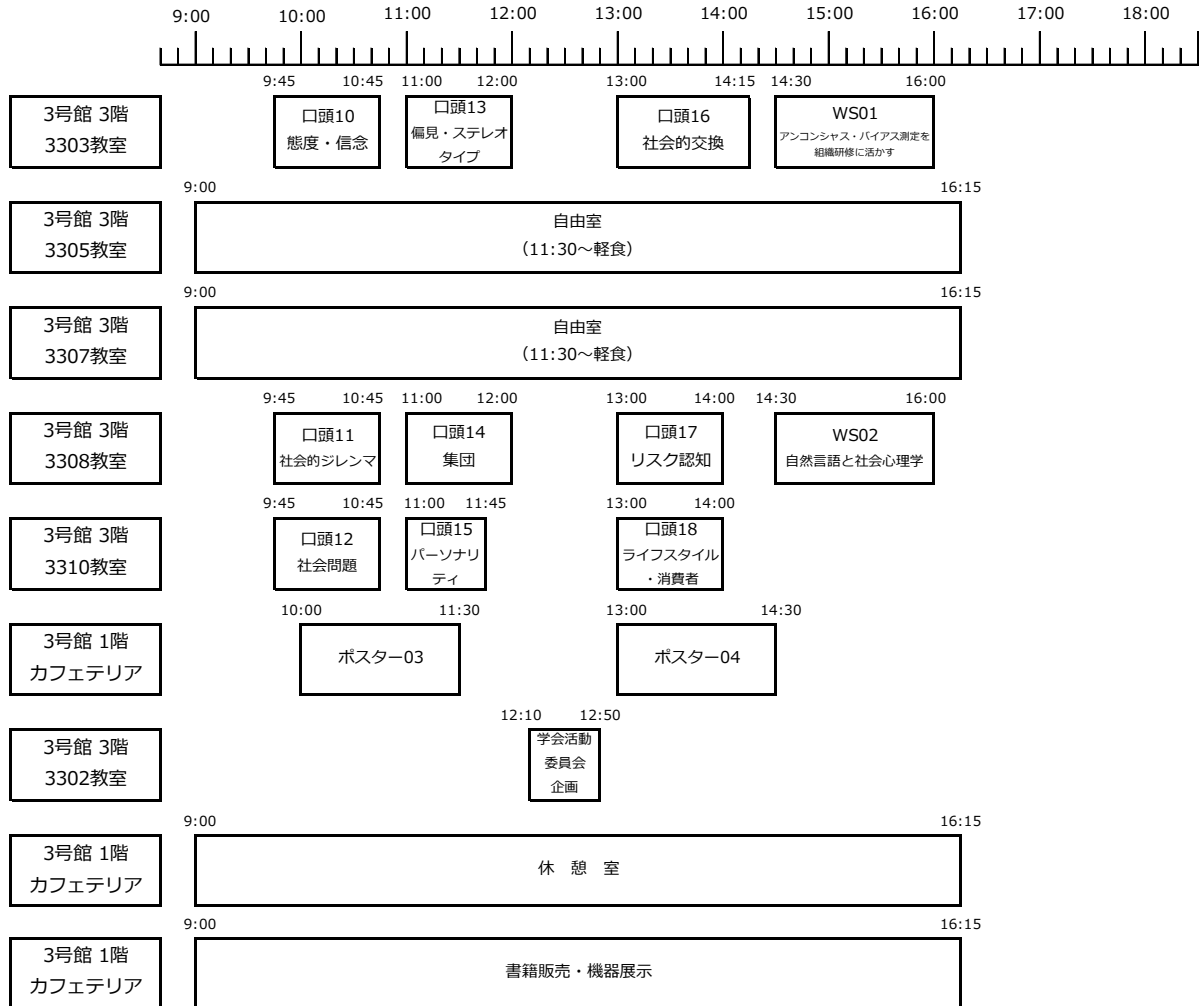
託児料は、大会における託児室設置(暫定)ガイドライン(2004年7月18日総会決定)に基づくものです。

第1日目 8月31日(土)





第2日目 9月1日(日)



## 社会心理学は世界的な課題の解決に責任を持てるのか

企画者： 岡 隆 (日本大学・大会準備委員長)

吉澤 寛之 (岐阜大学・大会運営委員)

日本社会心理学会大会準備委員会

日本社会心理学会大会運営委員会

司会者： 岡 隆 (日本大学)

話題提供者： 笹原 和俊 (東京工業大学・非会員)

熊谷 智博 (法政大学)

佐藤 剛介 (久留米大学)

指定討論者： 唐沢 かおり (東京大学)

唐沢 穰 (名古屋大学)

坂田 桐子 (広島大学)

### 概要

国連や SDGs で頻繁に取り上げられる課題のなかで、社会心理学による直接的間接的な貢献が見込まれるものには以下が挙げられる。

#### ① デジタル技術のインパクト ② 紛争と暴力の問題 ③ ダイバーシティとインクルージョン

デジタル技術に関しては、シンギュラリティやディープフェイクの問題など、紛争と暴力についてはイスラエルによるガザ地区侵攻やロシア・ウクライナ戦争、ダイバーシティとインクルージョンにはLGBTq、多文化、障害者の受容などが喫緊の課題となっている。

これら世界的な課題の解決に向けた提言に、社会心理学はどれほどの成果を上げているのだろうか。社会変化はドラスティックで、学術的な知見が社会に還元されるのを待つ余裕がないように見える。論文を書いて、本になるのを待ち、誰かが読んで参考にしてくれるだろうではダメで、自分の研究が直接的間接的に課題の解決にどう貢献しているかを明確にすることが社会心理学者に求められている。

本シンポジウムでは、①において「フェイクニュース」を専門とする笹原氏、②において「暴力紛争研究」を専門とする熊谷氏、③において「社会的障壁の研究」を専門とする佐藤氏が、ご自身の研究が課題解決にどう貢献するかという視点で話題提供する。各話題提供に対応する専門性を持つ指定討論者には、話題提供の研究が本当に解決に役立つのかといった視点から、総論的ではないガチの議論をお願いし、最後にフロア全体で考察を深めたい。

## アンコンシャス・バイアス測定を組織研修に活かす

企画者： 潮村 公弘 (フェリス女学院大学)

稲垣 勉 (京都外国語大学)

司会者： 潮村 公弘 (フェリス女学院大学)

話題提供者： 鈴木 富貴 (株式会社チェンジウェブグループ・非会員)

小林 敦子 (株式会社EFIC・非会員)

指定討論者： 尾崎 由佳 (東洋大学)

### 概要

IAT (Implicit Association Test)等の心理科学技法を用いてアンコンシャス・バイアス (無意識の偏見) を、適切にかつ精緻に、すなわち妥当性・信頼性高く測定する努力が、社会心理学を中心とした人間科学・社会科学領域において、この20数年来、活発に進められてきた。同時に、この期間に心理学研究に向けられるニーズも拡がりを見せ、エビデンス・ベースト (evidence based) を重視しつつ、現実の組織・社会の問題解決にどのように役立つのかという視点も常に意識されるようになってきているだろう。本ワークショップでは、心理科学的な測定を基に、組織研修等においてアンコンシャス・バイアス概念をどのように活用できるか、議論を深めていきたい。

鈴木富貴氏 (株式会社チェンジウェブグループ) からは、アンコンシャス・バイアス測定ツールである「ANGLE」のご実績 (これまでの受講者数は10万人超) を踏まえた上で、アンコンシャス・バイアスへの継続的取り組みをサポートする新しいツールである「ANGLE PLUS」のローンチに関連して、新しいツールへのニーズや、企業・組織の研修現場に導入するさいの工夫等について話題提供をいただく。

小林敦子氏 (株式会社EFIC) は、アンコンシャス・バイアス測定を活用した企業向けジェンダー・ハラスメント防止研修の実践を進めておられる。この研修では、社会心理学における伝統的概念である認知的複雑性の醸成を通して、アンコンシャス・バイアスを低減させ、ハラスメント防止に導く実践・研究を進めておられ、その成果についてご報告いただく。

尾崎由佳氏 (東洋大学) からは、ご自身の専門テーマである自制心に関連して、産学連携研究や企業・公的機関等の研修に取り組んでおられるご経験を踏まえて、指定討論をいただきたい。

さらには、フロアーからのご指摘やご質問を通して、私たち心理科学研究者として、今後のより良い関わり方について考えていく機会としたい。

## 自然言語と社会心理学

企画者： 高野 了太 (名古屋大学)

司会者： 高野 了太 (名古屋大学)

話題提供者： 高野 了太 (名古屋大学)

上島 淳史 (慶應義塾大学)

松井 暉 (横浜国立大学・非会員)

橋本 萌那 (東京工業大学・非会員)

### 概要

ChatGPT (GPT-4) をはじめとする大規模言語モデルの登場は、我々の生活や社会を変容させ、あらゆる分野の科学研究に衝撃をもたらした。この出来事は、(社会) 心理学研究の方法論にも大きな影響を与え、質問紙項目の生成、自由記述を用いた心理傾向の測定、対話ボットの作成など、新しいアプローチやツールが次々に開発されている (e.g., Götz et al., 2023; Hitsuwari et al., 2024; Ke et al., 2024; Suri et al., 2024)。こうした展開から、自然言語を用いた研究に関心を持ちつつも、「実際にどうすれば良いのかわからない」「メリットがどこまであるのか見えていない」などの理由から、各々の研究に取り入れるのを躊躇している社会心理学者も少なくないと考えられる。そこで本ワークショップでは、社会心理学および計算社会科学の研究者が、自然言語を用いた研究を各自紹介し、研究を実施したモチベーションや、それを解決するためのアプローチを多様な形で提供することで、聴衆である社会心理学者が自然言語を研究に活かすきっかけを作る。

まず、高野 (社会心理学) が、模擬陪審実験を用いた知識表象の共有に関する研究を発表する。続いて上島氏 (社会心理学) が、意味空間上に存在するアイデアの探索に関する研究を発表する。次に松井氏 (計算社会科学) が、書き手の立場に注目した日本語有害表現の起源についての研究を発表する。そして、橋本氏 (計算社会科学) が、ソーシャルメディア上の議論に見る代替肉と道徳の関係性に関する研究を発表する。最後に、フロアからのご意見を頂戴する予定である。

社会心理学において自然言語を用いた研究にどのような利点・制約があるのか、今後どのような展開が期待されるのか、参加者の皆さんとともに議論し、考える契機になれば幸いである。

# O01 口頭発表

第1日 (8月31日) 9:45 ~ 11:00

3号館3階3303教室

## 対人相互作用 1

座長 平島 太郎

- |       |  |   |  |
|-------|--|---|--|
| O0101 | 9:45 ~ 10:00<br>ペアが協調できないとき<br>予測的処理理論による検討  | ○中田 星矢<br>長井 志江                                   | 東京大学<br>東京大学                                 |
| O0102 | 10:00 ~ 10:15<br>家庭の経済状況と思春期世代の子どもの一般的信頼の<br>関連                                      | ○汪 明琛<br>山田 順子<br>石原 暢<br>田中 大貴<br>松田 哲也<br>高岸 治人 | 玉川大学<br>立正大学<br>神戸大学<br>玉川大学<br>玉川大学<br>玉川大学 |
| O0103 | 10:15 ~ 10:30<br>最小相互作用が高齢者の孤独感に及ぼす二面性<br>地域への帰属感の効果                                 | ○Nahyun Kim<br>片桐 恵子                              | 神戸大学<br>神戸大学                                 |
| O0104 | 10:30 ~ 10:45<br>最小相互作用を含むパーソナルネットワークと主観的幸<br>福感との関連<br>最小相互作用の能動性・受動性に着目した探索的検<br>討 | ○平島 太郎<br>五十嵐 祐                                   | 愛知淑徳大学<br>名古屋大学                              |
| O0105 | 10:45 ~ 11:00<br>人は他者からの好意を正しく推定「できない」のか？<br>—Liking Gapの生起過程の解明に向けて—                | ○志澤 翔太郎<br>川上 直秋                                  | 筑波大学<br>筑波大学                                 |

O02 口頭発表

第1日 (8月31日) 9:45 ~ 11:00

3号館3階3308教室

環境・犯罪

座長 杉浦 淳吉

- |  |   |
|--|---|
| <p>O0201 9:45 ~ 10:00<br/>省エネ行動のアイデア開発の国際比較と経年変化<br/>説得納得ゲームを用いた検討</p>                               | <p>○杉浦 淳吉 慶應義塾大学<br/>安藤 香織 奈良女子大学<br/>Gundula Hübner Martin-Luther-University Halle-Wittenberg<br/>Kim-Pong Tam 香港科技大学<br/>神原 歩 京都先端科学大学<br/>大沼 進 北海道大学</p> |
| <p>O0202 10:00 ~ 10:15<br/>討議の質指標を用いた市民参加ワークショップの議論<br/>内容の評価<br/>除去土壌の福島県外最終処分を題材とした共通善の<br/>検討</p> | <p>○柴田 侑秀 北海道大学<br/>崔 青林 北海道大学<br/>相馬 ゆめ 北海道大学<br/>辻本 光英 北海道大学<br/>植 穂奈美 北海道大学<br/>木原 なな 北海道大学<br/>高本 真依子 北海道大学<br/>保高 徹生 産業技術総合研究所<br/>大沼 進 北海道大学</p>      |
| <p>O0203 10:15 ~ 10:30<br/>政策による期待醸成はEV普及の鶏と卵の問題を解決<br/>するか</p>                                      | <p>○秋山 知也 東京大学<br/>亀田 達也 東京大学</p>   |
| <p>O0204 10:30 ~ 10:45<br/>電車内での痴漢に対する第三者による援助行使と予期</p>  | <p>○島田 貴仁 科学警察研究所</p>   |
| <p>O0205 10:45 ~ 11:00<br/>児童生徒の対人環境と反社会的傾向とのクラスタパ<br/>ターン<br/>—複数のクラスタリング手法による比較検討—</p>             | <p>○吉澤 寛之 岐阜大学<br/>松下 光次郎 岐阜大学<br/>吉田 琢哉 岐阜聖徳学園大学<br/>浅野 良輔 久留米大学</p>   |

**O03 口頭発表**

第1日 (8月31日) 9:45 ~ 11:00

3号館3階3310教室

**集団・組織**

座長 柿本 敏克

- |       |  |                  |                          |
|-------|--|------------------|--------------------------|
| O0301 | 9:45 ~ 10:00<br>ステレオタイプとしての「日本人集団主義者」説<br>自己ステレオタイプ化とメタ・ステレオタイプの観点から               | ○柿本 敏克<br>村畑 茄那  | 群馬大学<br>(一財) 地域活性化センター   |
| O0302 | 10:00 ~ 10:15<br>認知的中心性の高いメンバーは正確な意思決定をする<br>か?<br>客観的正解のある多属性型の集団意思決定課題を用<br>いた検討 | ○竹西 海人<br>中西 大輔  | 北海道大学<br>広島修道大学          |
| O0303 | 10:15 ~ 10:30<br>外集団及び移民に対する攻撃の意思決定メカニズムの<br>検討<br>社会選好を考慮したモデルによるパラメータ推定          | ○柏原 宗一郎<br>清水 裕士 | 関西学院大学・日本学術振興会<br>関西学院大学 |
| O0304 | 10:30 ~ 10:45<br>兵役拒否者はなぜ非難されるのか?<br>集団間紛争場面において紛争に参加しない個人の評<br>判を低下させる要因の検討       | ○大坪 快            | 東京大学                     |
| O0305 | 10:45 ~ 11:00<br>ニーズの有無がi-dealsの受け入れに影響するか?  | ○張 梓源<br>相馬 敏彦   | 広島大学<br>広島大学             |

## O04口頭発表

第1日 (8月31日) 14:45 ~ 16:00

3号館3階3303教室

### 対人相互作用2

座長 石井 辰典

O0401	14:45 ~ 15:00 運動同期の対人的効果： 石井・渡邊 (2023) の追試	○石井 辰典 渡邊 克巳	日本女子大学 早稲田大学
O0402	15:00 ~ 15:15 大学生はなぜマッチングアプリを利用するのか？ マッチングアプリの利用経験・利用動機と個人特性との 関連について	○鬼頭 美江 山田 順子 石原 英樹 高橋 幸	明治学院大学 立正大学・玉川大学 明治学院大学 石巻専修大学
O0403	15:15 ~ 15:30 マッチングアプリにおける情報探索方略 —仮想プロフィール画面を用いた実験的検討—	○山田 順子 須山 巨基 中分 遥 鬼頭 美江	立正大学・玉川大学 安田女子大学・明治学院大学 北陸先端科学技術大学院大学 明治学院大学
O0404	15:30 ~ 15:45 確率的に稀有な事象に「運命」を感じるのか パートナー選択場面における検討	○中分 遥 山田 順子 須山 巨基 鬼頭 美江	北陸先端科学技術大学院大学 立正大学・玉川大学 安田女子大学・明治学院大学 明治学院大学
O0405	15:45 ~ 16:00 バーチャル・ペットとの相互作用が精神的健康の変化 とオキシトシンの分泌に与える影響	○後藤 日奈子 吉村 麻美 李 述氷 汪 明琛 田中 大貴 下斗米 淳 Frank Krueger 高岸 治人	玉川大学 玉川大学 玉川大学 玉川大学 玉川大学 専修大学 George Mason University 玉川大学



政治・世論・マスコミュニケーション

座長 渋谷 明子

- |       |  |  |   |
|-------|--|--|---|
| O0501 | 14:45 ~ 15:00<br>議論フレームが共通善への言及に与える影響についての検討<br>除去土壌福島県外処理問題を題材とした集団討議実験 | ○相馬 ゆめ<br>植 穂奈美<br>柴田 侑秀<br>辻本 光英<br>崔 青林<br>中澤 高師<br>辰巳 智行<br>有馬 淑子<br>大沼 進 | 北海道大学・日本学術振興会<br>北海道大学<br>北海道大学<br>北海道大学<br>北海道大学<br>東洋大学<br>豊橋創造大学短期大学部<br>京都先端科学大学<br>北海道大学 |
| O0502 | 15:00 ~ 15:15<br>ドラマ・アニメのジェンダー描写の長期的影響<br>内容分析と縦断調査の統合                   | ○渋谷 明子<br>麻生 奈央子<br>大坪 寛子<br>祥雲 暁代<br>大倉 韻<br>坂元 章                           | 成城大学<br>お茶の水女子大学<br>慶應義塾大学<br>立教大学<br>東京医科歯科大学<br>お茶の水女子大学                                    |
| O0503 | 15:15 ~ 15:30<br>政治知識と政治的有効性感覚の投票参加への影響<br>—2022年参議院選挙の結果から—             | ○長濱 憲  | 東京大学  |
| O0504 | 15:30 ~ 15:45<br>海外に関する知識の現状   | ○安野 智子   | 中央大学  |
| O0505 | 15:45 ~ 16:00<br>都道府県知事の「声」と有権者の評価<br>COVID-19にかかる緊急事態宣言記者会見の分析          | ○岡田 陽介   | 拓殖大学  |

O06 口頭発表

第1日 (8月31日)

14:45 ~ 16:00

3号館3階3310教室

文化・ライフスタイル

座長 日比野 愛子

- |  |   |
|--|---|
| <p>O0601 14:45 ~ 15:00<br/>相互協調的幸福感は職場にどのような効果をもたらすか<br/>交差遅延効果モデルによる相互協調的幸福感と主観的健康／チームパフォーマンス評価との関係分析</p> | <p>○渡邊 寧 京都大学<br/>中山 真孝 京都大学<br/>竹村 幸祐 滋賀大学<br/>内田 由紀子 京都大学</p>                         |
| <p>O0602 15:00 ~ 15:15<br/>関係流動性は社会的望ましさと個人的望ましとの相関を調整しない<br/>上田・山形 (2024) の事前登録済み概念的追試</p>                | <p>○上田 皐介 名古屋大学・日本学術振興会<br/>山形 伸二 名古屋大学</p>   |
| <p>O0603 15:15 ~ 15:30<br/>自尊感情とセルフ・コンパッションが精神的健康に与える影響<br/>日米における経験サンプリング法を用いた検討</p>                      | <p>○平野 寛樹 名古屋大学<br/>佐藤 麻綾 名古屋大学<br/>石井 敬子 名古屋大学</p>                                     |
| <p>O0604 15:30 ~ 15:45<br/>都市居住者は地方居住者よりも幸せ<br/>—関係流動性の媒介効果—</p>   | <p>○浅野 良輔 久留米大学<br/>佐藤 剛介 久留米大学<br/>一言 英文 関西学院大学<br/>伊藤 健一 University of Lethbridge</p> |
| <p>O0605 15:45 ~ 16:00<br/>培養肉の受容に関する地域別要因の検討</p>  | <p>○日比野 愛子 弘前大学<br/>戸崎 航 弘前大学<br/>古橋 麻衣 東京大学<br/>竹内 昌治 東京大学</p>                         |

## O07口頭発表

第1日 (8月31日) 16:15 ~ 17:15

3号館3階3303教室

### 研究法・統計

座長 小林 哲郎

- |       |  |                 |                              |
|-------|--|-----------------|------------------------------|
| O0701 | 16:15 ~ 16:30<br>高齢者との接触経験の質はエイジズムに影響するか<br>アイテムカウント法による測定とベイズモデリングによる<br>分析         | ○若井 大成<br>清水 佑輔 | 東京大学・日本学術振興会<br>東京大学・日本学術振興会 |
| O0702 | 16:30 ~ 16:45<br>他者理解のツールとしての Q 方法論を再評価する試み<br>同好の士シャーロキアン同士は好きなホームズ作品に<br>ついて語り合えるか | ○増田 匡裕          | 和歌山県立医科大学                    |
| O0703 | 16:45 ~ 17:00<br>オンライン実験における理解度クイズ正答数および完了<br>率に説明方法の違いが与える影響の検討                     | ○水野 景子<br>三浦 麻子 | 関西学院大学<br>大阪大学               |
| O0704 | 17:00 ~ 17:15<br>誤情報や陰謀論への同意における黙従バイアス   | ○小林 哲郎<br>三浦 麻子 | 早稲田大学<br>大阪大学                |

## O08口頭発表

第1日 (8月31日) 16:15 ~ 17:15

3号館3階3308教室

### 感情・動機

座長 五十嵐 祐

- |       |   |                          |                             |
|-------|---|--------------------------|-----------------------------|
| O0801 | 16:15 ~ 16:30<br>協働規範メッセージが防犯への関心に及ぼす影響<br>高齢者における特殊詐欺啓発に焦点をあてて | ○竹橋 洋毅<br>豊沢 純子          | 奈良女子大学<br>大阪教育大学            |
| O0802 | 16:30 ~ 16:45<br>認知的再評価と表出抑制が生み出すネットワークのダイナミクス<br>縦断データによる検討    | ○五十嵐 祐<br>平島 太郎<br>吉田 琢哉 | 名古屋大学<br>愛知淑徳大学<br>岐阜聖徳学園大学 |
| O0803 | 16:45 ~ 17:00<br>感謝体験者が恩人を守るための第三者犠牲<br>衝動的な感謝体験者ほど犠牲にしやすいのか    | ○山本 晶友                   | 早稲田大学                       |
| O0804 | 17:00 ~ 17:15<br>日中比較を通じた「かわいい」の通文化性と文化固有性の研究                   | ○袁 麗娜<br>杉森 伸吉           | 早稲田大学<br>東京学芸大学             |

## O09 口頭発表

第1日 (8月31日) 16:15 ~ 17:15

3号館3階3310教室

### 認知・社会的認知

座長 柳沢 邦昭

- |       |  |   |  |
|-------|--|---|--|
| O0901 | 16:15 ~ 16:30<br>社会的認知構造に孤独感を与える影響<br>表象類似度解析による検証 | ○柳澤 邦昭<br>中井 隆介<br>米谷 充史<br>八田 紘和<br>杉浦 仁美<br>阿部 修士 | 神戸大学<br>京都大学<br>神戸大学<br>神戸大学<br>近畿大学<br>京都大学 |
| O0902 | 16:30 ~ 16:45<br>評価者数と間接互惠行動との関連<br>—評価懸念に着目した検討—  | ○原田 瑞穂<br>五十嵐 祐                                     | 名古屋大学<br>名古屋大学                               |
| O0903 | 16:45 ~ 17:00<br>逸脱の影響度に応じた逸脱者の心的状態に関するベイズ的推論      | ○佐藤 洋大  | 名古屋大学・日本学術振興会                                |
| O0904 | 17:00 ~ 17:15<br>自己調整方略が職場ストレスに与える効果               | ○塚原 拓馬  | 実践女子大学                                       |

## O10口頭発表

第2日 (9月1日) 9:45 ~ 10:45

3号館3階3303教室

### 態度・信念

座長 清水 裕士

- |       |   |  |
|-------|---|--|
| O1001 | 9:45 ~ 10:00<br>生成AIへの依存要因の探究：日本における縦断的研究                             | ○スミス アダム 国際基督教大学<br>長谷川 オリバ 北海道大学<br>佐野 智咲 国際基督教大学<br>徐 梓蕾 国際基督教大学 |
| O1002 | 10:00 ~ 10:15<br>行為の意思決定理論<br>—信念と欲求を行為から数量化する—                       | ○清水 裕士 関西学院大学  |
| O1003 | 10:15 ~ 10:30<br>「持続可能性」の概念と道徳基盤<br>持続可能な開発目標 (SDGs) に対する潜在的態度の<br>検討 | ○杉谷 陽子 上智大学<br>唐沢 穰 名古屋大学  |
| O1004 | 10:30 ~ 10:45<br>感情を揺さぶる物語は態度変容と社会的共有を促すの<br>か？                       | ○河口 陽菜 東京学芸大学<br>品田 瑞穂 東京学芸大学                                      |

## O11口頭発表

第2日 (9月1日) 9:45 ~ 10:45

3号館3階3308教室

### 社会的ジレンマ

座長 神 信人

- |       |  |   |   |
|-------|--|---|---|
| O1101 | 9:45 ~ 10:00<br>後続世代数と世代を超えた協力行動の関係：<br>探索的調査報告            | ○三木 毬菜<br>清水 裕士                           | 関西学院大学<br>関西学院大学                            |
| O1102 | 10:00 ~ 10:15<br>未来志向メッセージが献血意図に及ぼす影響                      | ○小林 右京<br>山本 佳祐<br>前田 楓<br>佐藤 剛介<br>橋本 博文 | 大阪公立大学<br>京都文教大学<br>立教大学<br>久留米大学<br>大阪公立大学 |
| O1103 | 10:15 ~ 10:30<br>リアルタイム下の協働における能動と応報<br>囚人のジレンマゲーム実験を用いた検討 | ○森 隆太郎<br>花木 伸行<br>亀田 達也                  | 東京大学・日本学術振興会<br>大阪大学<br>明治学院大学              |
| O1104 | 10:30 ~ 10:45<br>社会的ジレンマにおける罰行動の至近因<br>強い互恵性 vs. ドミナンス欲求   | ○神 信人<br>松本 良恵                            | 淑徳大学<br>淑徳大学                                |

## O12口頭発表

第2日 (9月1日) 9:45 ~ 10:45

3号館3階3310教室

### 社会問題

座長 池内 裕美

- |       |   |                 |                  |
|-------|---|-----------------|------------------|
| O1201 | 9:45 ~ 10:00<br>感染症対策のマスク着用行動の習慣化がもたらす逆効果                             | ○大友 章司<br>木村 玲欧 | 関東学院大学<br>兵庫県立大学 |
| O1202 | 10:00 ~ 10:15<br>上位階層者は自身の特権情報に対して自己防衛的反応を示すのか                        | ○柿本 航哉<br>北村 英哉 | 東洋大学<br>東洋大学     |
| O1203 | 10:15 ~ 10:30<br>カスタマーハラスメントの行為者特性に関する国際比較<br>日本・米国・ニュージーランドの比較調査結果より | ○池内 裕美<br>秋山 隆  | 関西大学<br>関西大学     |
| O1204 | 10:30 ~ 10:45<br>詐欺抵抗力診断アプリの評価と改善<br>汎化性能と特微量(質問)選択                   | ○小久保 温          | 八戸工業大学           |



## O13口頭発表

第2日 (9月1日) 11:00 ~ 12:00

3号館3階3303教室

### 偏見・ステレオタイプ

座長 前田 楓

- |       |   |                                    |   |
|-------|---|------------------------------------|---|
| O1301 | 11:00 ~ 11:15<br>被害者非難の抑制における低減方略<br>—代替思考に注目して—                                    | ○王 詩頤<br>北村 英哉                     | 東洋大学<br>東洋大学  |
| O1302 | 11:15 ~ 11:30<br>女性に対する慈愛的偏見の軽減<br>Becker & Swim (2012) の追試                         | ○清水 佑輔<br>講元 幸祈<br>馬目 蓉子<br>唐沢 かおり | 東京大学・日本学術振興会<br>元東京大学<br>東京大学<br>東京大学                 |
| O1303 | 11:30 ~ 11:45<br>「若いから」「高齢だから」生じる年齢差別：<br>性別・年齢による差と心身への影響                          | ○竹内 真純<br>福沢 愛<br>小林 江里香<br>片桐 恵子  | 東京都健康長寿医療センター研究所<br>武蔵野大学<br>東京都健康長寿医療センター研究所<br>神戸大学 |
| O1304 | 11:45 ~ 12:00<br>学歴偏重主義は日本においても容認されているか？<br>能力主義に基づく責任帰属バイアスと大卒・非大卒者<br>に対する印象評価の関連 | ○前田 楓<br>橋本 博文                     | 立教大学<br>大阪公立大学  |

## O14口頭発表

第2日 (9月1日) 11:00 ~ 12:00

3号館3階3308教室

### 集団

座長 高木 英至

- |       |  |  |
|-------|--|--|
| O1401 | 11:00 ~ 11:15<br>強化学習による規範内面化のメカニズム：<br>2つの計算論モデルによる検討 | ○笹川 陽奈子 北海道大学<br>竹澤 正哲 北海道大学                   |
| O1402 | 11:15 ~ 11:30<br>インセンティブ下でも多数派同調バイアスは示されるのか？           | ○藤川 真子 広島修道大学<br>横田 晋大 広島修道大学<br>中西 大輔 広島修道大学  |
| O1403 | 11:30 ~ 11:45<br>多数派同調バイアスは協力均衡を導くか？                   | ○棗田 みな美 広島修道大学<br>横田 晋大 広島修道大学<br>中西 大輔 広島修道大学 |
| O1404 | 11:45 ~ 12:00<br>社会的影響モデルの予測はエージェントの初期配置に依存する          | ○高木 英至 埼玉大学                                    |

パーソナリティ

座長 福島 治

- |       |   |                    |                                |
|-------|---|--------------------|--------------------------------|
| O1501 | 11:00 ~ 11:15<br>社会的受容感と拒絶感に伴う自尊心の変動に対する愛着次元の効果 | ○福島 治              | 新潟大学                           |
| O1502 | 11:15 ~ 11:30<br>個人と集団のアンマッチから生じた疎外感が受容できるか?    | ○Mujun Qin<br>橋本 敬 | 北陸先端科学技術大学院大学<br>北陸先端科学技術大学院大学 |
| O1503 | 11:30 ~ 11:45<br>Precrastination 尺度作成の試み        | ○安達 未来             | 大阪電気通信大学                       |

## O16口頭発表

第2日 (9月1日) 13:00 ~ 14:15

3号館3階3303教室

### 社会的交換

座長 井上 裕香子

- |       |  |   |                                      |
|-------|--|---|--------------------------------------|
| O1601 | 13:00 ~ 13:15<br>条件付き協力戦略はギビングゲームで協力してもらえるのか?<br>メンバーとの将来の相互作用可能性を操作した検討 | ○井上 裕香子<br>清成 透子                          | 安田女子大学<br>青山学院大学                     |
| O1602 | 13:15 ~ 13:30<br>「先んじて協力を示す」ことの有効性とためらい                                  | ○永延 佳那子<br>前田 楓<br>谷田 林士<br>橋本 博文         | 大阪公立大学<br>立教大学<br>大正大学<br>大阪公立大学     |
| O1603 | 13:30 ~ 13:45<br>なぜ独裁者ゲームで独裁者役となることを忌避するのか<br>評判管理メカニズムの副産物仮説の検討         | ○新井 さくら                                   | 東京大学・日本学術振興会                         |
| O1604 | 13:45 ~ 14:00<br>思春期における向社会行動の特徴とその心理基盤                                  | ○田中 大貴<br>山田 順子<br>石原 暢<br>松田 哲也<br>高岸 治人 | 玉川大学<br>立正大学<br>神戸大学<br>玉川大学<br>玉川大学 |
| O1605 | 14:00 ~ 14:15<br>個人が作る紐帯のマクロな帰結<br>意図せず生まれる評判ネットワークのしがらみ                 | ○竹村 幸祐<br>福島 慎太郎<br>内田 由紀子                | 滋賀大学<br>東京女子大学<br>京都大学               |

## O17口頭発表

第2日 (9月1日) 13:00 ~ 14:00

3号館3階3308教室

### リスク認知

座長 中谷内 一也

- |       |  |   |
|-------|--|---|
| O1701 | 13:00 ~ 13:15<br>統計情報は事例に基づく評価を修正できるか (1)<br>緊急地震速報の有効性評価への影響について                | ○中谷内 一也 同志社大学<br>横井 良典 京都橘大学                              |
| O1702 | 13:15 ~ 13:30<br>統計情報は事例に基づく評価を修正できるか (2)<br>緊急地震速報の有効性評価への影響について                | ○横井 良典 京都橘大学<br>中谷内 一也 同志社大学                              |
| O1703 | 13:30 ~ 13:45<br>福島原発事故による食品放射能汚染と新型コロナのリスク認知比較<br>14波パネル調査データによる二重システム理論の検討     | ○楠見 孝 京都大学<br>西川 一二 大阪商業大学<br>三浦 麻子 大阪大学<br>小倉 加奈代 岩手県立大学 |
| O1704 | 13:45 ~ 14:00<br>能登半島地震後の支援行動に関する態度と意思決定 (2)<br>震災関係者に対する信頼と被災地における行動の不適切さ認知について | ○工藤 大介 東北学院大学<br>李 楊 名古屋大学                                |

## O18口頭発表

第2日 (9月1日) 13:00 ~ 14:00

3号館3階3310教室

### ライフスタイル・消費者

座長 佐々木 美加

- |       |  |                          |  |
|-------|--|--------------------------|--|
| O1801 | 13:00 ~ 13:15<br>新型コロナウイルス感染拡大期と比較した生活の変化<br>—ICT利用のライフスタイル研究—         | ○佐藤 仁<br>飽戸 弘            | NTTドコモ<br>東京大学                         |
| O1802 | 13:15 ~ 13:30<br>ライフスタイルと情報行動<br>—ICT利用のライフスタイル研究—                     | ○水野 一成<br>飽戸 弘           | NTTドコモ<br>東京大学                         |
| O1803 | 13:30 ~ 13:45<br>中高年者における推し活と協調的幸福感の関連性の検<br>討<br>—ボランティアおよびチャリティとの比較— | ○大塚 祐多<br>森田 賢<br>内田 由紀子 | サントリーウエルネス(株)<br>サントリーウエルネス(株)<br>京都大学 |
| O1804 | 13:45 ~ 14:00<br>英語版金融心理尺度の開発  | ○佐々木 美加<br>本西 泰三         | 明治大学<br>関西大学                           |

# P01ポスター発表

第1日 (8月31日) 9:30 ~ 11:00

3号館1階カフェテリア

在席責任時間 奇数番号 : 9:30 ~ 10:15 偶数番号 : 10:15 ~ 11:00

P0101	従属変数が複数ある場合の多重検定問題 —各 $p$ 値調整法の familywise error rate 制御の比較—	○酒井 拓人 小野島 昂洋	愛知学院大学 愛知学院大学
P0102	フィードバックによる不注意回答抑制の試み —オンライン調査における検討—	○山田 怜生 光永 悠彦 五十嵐 祐	名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学
P0103	自己完結型・他者介在型自己制御尺度の開発 —一人で行うか、他者を活用するか—	○原田 知佳 榊原 咲絵	名城大学 知多信用金庫
P0104	セルフ・コンパッションと心理的暴力及び関係満足度の 関連 配偶者ペアデータを用いた検討	○宮川 裕基 Jia Wei Zhang 古村 健太郎 谷口 淳一 金政 祐司	追手門学院大学 The University of Memphis 弘前大学 帝塚山大学 追手門学院大学
P0105	社会的地位と包摂が自尊心と自己愛に及ぼす影響 —国際比較データを用いたハイロメーター理論の検討—	○長谷川 孝治 古里 由香里 古谷 嘉一郎	駒澤大学 お茶の水女子大学 関西大学
P0106	発達障害のセルフラベリングに対するフィードバックの 内容が当事者の心理に与える影響 —賞賛獲得欲求・拒否回避欲求に着目して—	○山田 梨央 箕浦 有希久	佛教大学 佛教大学
P0107	徳を積むことに関する行動や信念 公正世界信念, 不思議現象信奉, 利他行動との関連 性	○向居 暁 遠藤 美南 村山 綾 山本 琢俣	県立広島大学 損保ジャパン 立命館大学 文教大学
P0108	道徳的規範意識、自律性及び精神的健康の関連	○清野 幸歩 前場 康介 石井 辰典	日本女子大学 跡見学園女子大学 日本女子大学
P0109	サイコパシー特性によるPDゲーム選択推移構造の比較 Gradual 戦略をもとに	○安念 保昌	札幌保健医療大学
P0110	社会規範に対する感受性の測定	○尾崎 拓	関西福祉科学大学
P0111	「ながら食べ」によって間食が促進されるか	○高本 真寛 桑原 葵	横浜国立大学 (株)東京電力ホールディングス
P0112	血圧変動が気分に与える影響: 経験サンプリング法を用いた検討	○伊崎 翼 高田 圭二 沓澤 岳 日道 俊之	高知工科大学 明治学院大学 産業技術総合研究所 高知工科大学
P0113	罪悪感のセルフコントロールに及ぼす影響 経験サンプリング法を用いた検討	○古川 善也	福岡大学
P0114	安全性の知覚は共感性と心拍変動の関係を調整する のか?	○日道 俊之 伊崎 翼	高知工科大学 高知工科大学

ポスター発表 P01 第1日

P0115	作者のパーソナリティ情報は作品への感動に影響する のか	○加藤 樹里	金沢工業大学
P0116	アレキシサイミア傾向者における共感性とメンタルヘル スの関連性 感情制御方略の調整効果に着目した検討	○細川 亜佐子 北神 慎司	名古屋大学・日本学術振興会 名古屋大学
P0117	親切の送り手による受け手の感謝の過小評価 第三者評定との比較および感謝表出の影響の検討	○白木 優馬	愛知学院大学
P0118	日本人大学生を対象とした表情による感情知覚パター ンの測定 感情知覚の正確さとノイズ知覚に着目して	○賈 琴 謝 新宇 中島 健一郎	広島大学 広島大学 広島大学
P0119	反すうを状況別に測定する尺度作成の試み 罪悪感, 怒り, 恥に着目して	○辻本 有希 竹橋 洋毅	奈良女子大学 奈良女子大学
P0120	嫌悪感情が道徳判断に与える影響の検討	○松尾 朗子 向井 智哉 田中 友理	東京大学 福山大学 多摩大学
P0121	親が子どもをほめることが親自身の仕事の動機づけに 与える影響	○柿沼 亨祐	高知工科大学・日本学術振興会
P0122	関係継続意図と送り手の表出感情が感情共有と結びつ き知覚に及ぼす影響	○小森 めぐみ 田中 知恵	東京女子大学 明治学院大学
P0123	向社会性の向上における感謝介入の効果	○眞嶋 良全 吉田 峻人	北星学園大学 北星学園大学
P0124	環境の変化が学生の孤独感と精神的健康に及ぼす中 期的影響 多母集団 RI-CLPM を用いた分析	○李 受珉 戸谷 彰宏 清水 陽香 安部 主晃 重松 潤 張 梓源 神原 広平 阿部 夏希 早瀬 良 杉浦 仁美 阿部 修士 中井 隆介 柳澤 邦昭 中島 健一郎	広島大学 広島大学 西九州大学短期大学部 広島大学 富山大学 広島大学 同志社大学 広島文教大学 中部大学 近畿大学 京都大学 京都大学 神戸大学 広島大学
P0125	消費者動機やリスク回避行動の制御焦点志向との関連	○田 浩 山崎 瑞紀 瀬戸 大雅 森屋 恵里	東京都市大学 東京都市大学 東京都市大学 東京都市大学
P0126	感情調節方略と中庸思考が感情体験に与える影響に 関する検討 在日中国人労働者を対象とした質問紙調査を基に	○林 萍萍 菅原 大地	大阪商業大学 筑波大学



ポスター発表P01 第1日

P0127	縦断データを用いた孤独感に影響する諸要因の検討 2022年度データ（戸谷他，2023）の追試検討	○戸谷 彰宏 李 受珉 清水 陽香 安部 主晃 重松 潤 張 清源 神原 広平 阿部 夏希 早瀬 良 杉浦 仁美 阿部 修士 中井 隆介 柳澤 邦昭 中島 健一郎	広島大学 広島大学 西九州大学短期大学部 広島大学 富山大学 広島大学 同志社大学 広島文教大学 中部大学 近畿大学 京都大学 京都大学 神戸大学 広島大学
P0128	マスク着用における向社会的動機と孤独感との関連 本人の動機と他者の動機の推測に注目して	○宮崎 弦太	学習院大学
P0129	他者からの軽視が潜在的自尊心の補償的高揚に及ぼす効果	○村上 史朗	奈良大学
P0130	知能観がフィードバック獲得行動に及ぼす影響 フィードバックの獲得をためらう理由に着目して	○田崎 希実 竹橋 洋毅	奈良女子大学 奈良女子大学
P0131	未達成の目標によるマインドワンダリングは計画が解消するか	○伊藤 颯希 河村 悠太	大阪公立大学 大阪公立大学
P0132	認知バイアスの経験と二重過程モデル 認知バイアス・アセスメント尺度80（CBA-80）と認知的 熟慮性検査（CRT）の成績の関係	○森 津太子 高比良 美詠子 池田 まさみ 宮本 康司	放送大学 立正大学 十文字学園女子大学 東京家政大学
P0133	一般化線形混合モデルによる共同サイモン効果の再考	○入江 駿 橘 篤導 松尾 朗子	獨協医科大学 獨協医科大学 東京大学
P0134	からかいの受け手は何を手がかりに話し手の意図を推測するの か —相反する2つの意図推測への影響モデルの検討—	○本郷 亜維子 森 津太子	放送大学 放送大学
P0135	表情×顔色×背景色が顔マークの知覚に与える効果 明暗・良悪・温冷の評定次元を用いて	○朝比奈 遼 大江 朋子	帝京大学 帝京大学
P0136	認知的 / 感情的共感と注意制御の個人差が外集団脅威 情報接触後の集団間感情に及ぼす影響	○吉田 綾乃	東北福祉大学
P0137	属性推論における二重過程に影響する要因の検討 (1) サティスファイスン傾向と回答者の個人特性の関係	○工藤 恵理子 大江 朋子 森 津太子	東京女子大学 帝京大学 放送大学
P0138	属性推論における二重過程に影響する要因の検討 (2) 対応バイアスとその修正に関わる個人差と加齢の効果	○大江 朋子 工藤 恵理子 森 津太子	帝京大学 東京女子大学 放送大学
P0139	偏見の表出における楽観的認知バイアスとその関連要因の 検討 統制可能性，プロトタイプの典型性，発生頻度および 望ましさの知覚との関連	○山本 真菜 岡 隆	日本大学 日本大学

ポスター発表P01 第1日

P0140	SNSの使用が二分法的信念に及ぼす影響 「いいね (!)」の機能に注目して	○新井田 恵美 田戸岡 好香 樋口 収	東洋大学 高崎経済大学 明治大学
P0141	「幸運のネットワーク仮説」に関する再検証 —ネットワークから得られる幸運・不運の意識から—	○村上 幸史	大阪大学
P0142	公正世界信念・擬人化・価値共有がロボットへの否定的反応に及ぼす影響	○濱田 龍 長谷川 孝治	東洋大学 駒澤大学
P0143	他者の道徳判断およびその理由が個人の道徳判断に及ぼす影響	○朴 ゴウン 石井 敬子	西南学院大学 名古屋大学
P0144	道徳逸脱行為者への非難における喚起感情と所属集団の影響 大学生の身近な集団を用いた検討	○島崎 敦也 品田 瑞穂	東京学芸大学 東京学芸大学
P0145	格差拡大が保守主義への支持に及ぼす効果 —一般サンプルでの再検討—	○李 禕飛 沼崎 誠	東京都立大学 東京都立大学
P0146	家庭と仕事に必要とされる特性の認知が両立への動機づけに及ぼす影響	○高林 久美子	東京女子大学
P0147	潜在指標を用いた道徳性優位仮説の検討 —自発的特性推論の実験パラダイムを用いて—	○佐野 秀 宮本 聡介	明治学院大学 明治学院大学
P0148	クリティカルシンキング能力と他者感情推測の正確さの関係 交差遅延モデルによる検討	○矢澤 順根 中島 健一郎	広島大学 広島大学
P0149	繰り返し思い出すことでより美しくなるのか? —反復想起が再認時の顔魅力度変化に与える影響—	○費 思怡 川上 直秋	筑波大学 筑波大学
P0150	物語形式による情報伝達が対人認知に及ぼす影響について (2) —犯罪報道にみられる容疑者の素性に関する情報伝達と顔写真の有無による検討—	○金田 宗久 伊藤 君男	愛知学院大学 東海学園大学

## P02ポスター発表

第1日(8月31日) 15:00～16:30

3号館1階カフェテリア

在席責任時間 奇数番号: 15:00～15:45 偶数番号: 15:45～16:30

P0201	線画の太さがキャラクターの印象に与える効果	○玉宮 義之	白鷗大学
P0202	ターゲットの性別と優れている領域がターゲットへの非人間化に及ぼす影響 20～30代の女性を参加者として検討	○朴 建映 李 禕飛 沼崎 誠	東京都立大学 東京都立大学 東京都立大学
P0203	社会的比較プロセスにおける同化と対比 SNS投稿による他者提示法を用いた検討	○大久保 暢俊	東洋大学
P0204	SNS上の妬みが主観的well-beingと自己高揚に及ぼす影響 Krasnova et al. (2015)の概念的追試	○下田 俊介 下田 麻衣	東洋大学 京都ノートルダム女子大学
P0205	旧制度下での不公平経験が制度改革に対する賛成度に及ぼす影響	○水口 真希 村本 由紀子	東京大学 東京大学
P0206	かわいい声はなぜ好かれるのか? ジェンダー自尊心が声の選好に及ぼす影響	○高田 治樹	医療創生大学
P0207	孤立・孤独に対する社会的スティグマの検討(2)	○杉浦 仁美 柳澤 邦昭	近畿大学 神戸大学
P0208	上昇婚を正当化する態度と人生満足感の関連 ジェンダー格差社会の恋愛観とシステム正当化に関する予備的検討	○麻生 奈央子 坂元 章	お茶の水女子大学 お茶の水女子大学
P0209	学歴ステレオタイプ脅威による就職活動時のパフォーマンスへの影響	○城後 有希 田原 直美	西南学院大学 西南学院大学
P0210	相互依存観がメタステレオタイプと集団間態度に与える影響	○品田 瑞穂	東京学芸大学
P0211	ステレオタイプ抑制における逆説的効果に対する仮想接触の効果	○澤田 絵里 宮下 達哉 岡 隆	筑波大学 日本大学 日本大学
P0212	「日本人らしさ」にかかわる基準の変移現象	○塚本 早織	愛知学院大学
P0213	システム脅威が男性の性役割的偏見(ジェンダーステレオタイプ化)に及ぼす効果 —大学生サンプルでの再検討—	○沼崎 誠 李 禕飛	東京都立大学 東京都立大学
P0214	女性管理職に対する評価に性役割態度と性差が及ぼす影響 ～全国の正社員男女を対象とした意識調査から～	○武藤 麻美 桂田 恵美子	阪南大学 関西学院大学
P0215	社会システムの変化の受容に影響を及ぼす要因 —都市部および地方居住者データを用いた検討—	○村山 綾	立命館大学
P0216	人工知能の発展は人々の知能観を変化させるか	○谷辺 哲史	早稲田大学

ポスター発表 P02 第1日

P0217	催眠についてのイメージをYahoo!知恵袋から読み解く その3 —自己組織化マップを用いて—	○中谷 智美 福井 義一 澤田 戒	甲南大学 甲南大学 甲南大学
P0218	心理学の講義によるAPPLE IIの変容 不思議現象に対する態度(75)	○小城 英子 坂田 浩之 川上 正浩	聖心女子大学 大阪樟蔭女子大学 大阪樟蔭女子大学
P0219	潜在的態度に対して状況要因が与える影響 スポーツ・運動に対するSC-IATを用いた検討	○大橋 恵 澤海 崇文	東京未来大学 流通経済大学
P0220	ヒト脳オルガノイドに対する心の知覚と道徳判断 2項関係の道徳理論による検討	○苫米地 飛 谷辺 哲史 太田 紘史	東京大学 早稲田大学 筑波大学
P0221	発表日程変更		
P0222	社会的態度の個人差を説明する概念としての「常民性」の探究(2) 作成した尺度の妥当性と信頼性の検討	○三浦 麻子 小林 哲郎 清水 裕士	大阪大学 早稲田大学 関西学院大学
P0223	日本と地域への帰属意識が多面的正当化に及ぼす効果 社会経済的地位に注目した検討	○川嶋 伸佳	神奈川大学
P0224	知覚された説得意図がSNSでの説得に与える影響	○石原 瞳 鈴木 貴久	東京大学 津田塾大学
P0225	陰謀論者が新型コロナワクチンを拒否したとき 陰謀論的信念がCovid-19陰謀論及びワクチン信頼度に与える影響の検討	○亀岡 優輔 西田 公昭	立正大学 立正大学
P0226	メタステレオタイプと性役割態度が同性愛者に対する態度に及ぼす影響(3)	○竹原 菜々子 工藤 恵理子 長谷川 孝治	東京女子大学 東京女子大学 駒澤大学
P0227	コロナ禍の授業形態が大学生の学校満足度と学校生活意欲に与える影響(1) —コロナ禍の授業形態が大学生の生活意欲に与える影響—	○牧野 幸志	摂南大学
P0228	ネガティブな側面を有する協力要請に対する応諾の程度に感謝が及ぼす影響	○磯部 智加衣	千葉大学
P0229	職場の非礼は伝達機能をもつのか —非礼がシグナルとして職務満足度と組織市民行動に及ぼす影響—	○宮崎 美保 相馬 敏彦	広島大学 広島大学
P0230	結婚生活における社会的比較： 役割遂行と個人条件を比較カテゴリーとして	○周 玉慧	台湾中央研究院
P0231	最小相互作用と向社会的行動	○石黒 格	立教大学
P0232	リアルタイムチームワーク評価に向けて： 協働作業中の「気づかい」推定手法の提案	○佐々木 元気 五十嵐 洋	東京電機大学 東京電機大学
P0233	向社会的な嘘と抑うつの関連における非緩和共同性の役割	○田口 恵也 太幡 直也	大阪大学 愛知学院大学

ポスター発表P02 第1日

P0234	開示伝達動機尺度の作成の試み —大学生を対象として—	○稲垣 勉	京都外国語大学
P0235	対人コミュニケーションにおける逆転型アイロニーが他 者との関係性に及ぼす影響	○岸 ひなた 前田 洋光	京都橘大学 京都橘大学
P0236	間接的要求が効果的となる条件の検討 恩恵／修復場面での間接的要求使用効果の比較	○森 久美子 野谷 風花	関西学院大学 関西学院大学
P0237	妬みによる他者の報酬を減らす/自分の報酬を増やす 行動	○中井 彩香 沼崎 誠	東京都立大学 東京都立大学
P0238	LINEでの会話におけるあいづちが対人魅力に及ぼす 影響	○田村 美恵 肥田 美桜和	神戸市外国語大学 (株)ロイヤルホテル
P0239	解読に関するパフォーマンスと知識の関係性 —測定領域および文化的背景に着目して—	○志水 勇之進 小川 一美	愛知淑徳大学 愛知淑徳大学
P0240	シャイネスが主観的幸福感と孤独感に及ぼす影響 —他者への自己開示の媒介効果に着目して—	○池田 蓮人 新垣 紀子 中島 健一郎	広島大学 成城大学 広島大学
P0241	診察場面での患者の怒りに伴う行動とその後の医師の 行動 怒りの正当性評価との関連	○阿部 晋吾	関西大学
P0242	女性管理職が用いる他者操作方略とリーダーの自信と の関連 自己呈示、対人ストレスナーに着目して	○木川 智美	名古屋産業大学
P0243	大学生におけるSNS利用と社会関係資本に関する研 究 —MAXQDAを用いたインタビュー分析を通して—	○黄 雪琴	名古屋大学
P0244	コンテキストの高低に対するコードスイッチングを測定す る尺度開発の試み	○呉 長憶 山 祐嗣	大阪公立大学 大阪公立大学
P0245	フレーミングがジェンダー・バイアス対峙者への評価に 与える影響	○吉田 夏月	国際基督教大学
P0246	「お節介を気にする人」と「お節介でも手を出す人」	○新谷 優	法政大学
P0247	効果的利他主義の心理的メカニズム：寄付効果の認識 と共感に着目して	○川口 周一郎 河村 悠太	大阪公立大学 大阪公立大学
P0248	人は罰場면을回避するのか？ —場面選択型第三者罰ゲームを用いた検討—	○三石 宏大 河村 悠太	大阪公立大学 大阪公立大学
P0249	見知らぬ他者への援助行動は伝播するか？(1)： フィールド実験を用いた検討	○平山 陽菜 清河 幸子	東京大学 東京大学
P0250	大学生のアルバイトにおける職業コミットメントと援助要 請忌避態度の関連	○佐々木 稜 太田 仁 橋本 剛	静岡大学 奈良大学 静岡大学

# P03ポスター発表

第2日 (9月1日) 10:00 ~ 11:30

3号館1階カフェテリア

在席責任時間 奇数番号：10:00 ~ 10:45 偶数番号：10:45 ~ 11:30

P0301	寄付行動の分類に関する探索的検討 対象・目的とイメージの関連	○中島 誠	名古屋学院大学
P0302	内向的な人が好まれるとき 親和場面での対人魅力	○村田 光二	成城大学
P0303	笑顔で美しいと正直に見えるのか？ 笑顔と顔の魅力が初期の欺瞞性認知に与える影響	○久保田 晶乃	法政大学
P0304	討論時の批判的思考態度と社会的スキルの関係	○石川 真	上越教育大学
P0305	チームワーク能力と能力の自己評価および適応感との 関連 2時点の調査による検討	○渡部 麻美	東洋英和女学院大学
P0306	低自己評価者の新規職場適応を支える重要他者の存在 — 一関係的自己と真正な自己表現からの検討 —	○谷口 淳一 宮川 裕基 森下 雄輔	帝塚山大学 追手門学院大学 大阪国際大学
P0307	「推し」と恋愛相手における恋愛様相の差異に関する 研究	○栗林 克匡	北星学園大学
P0308	アタッチメントスタイル、社会的排斥、心理的IPVの縦 断的関連 3波の縦断調査からの検討	○金政 祐司 宮川 裕基 古村 健太郎	追手門学院大学 追手門学院大学 弘前大学
P0309	周囲からの非受容への反発が遠距離恋愛を強くする	○古村 健太郎	弘前大学
P0310	孤独な人びとはダークサイドの人に助けを求めるのか？	○増井 啓太	追手門学院大学
P0311	婚活パーティーにおける男性の評価に及ぼす社会的情 報の効果 他の女性が関心を向けた男性は魅力的に見える	○天野 陽一	東京都立大学
P0312	運動部員の仲間関係における積極的表現と自己への 気遣いとの関係	○吉村 斉	高知学園大学
P0313	友人からの過去の受容経験が大学生の誘い行動に及 ぼす影響 被受容感と被拒絶感の媒介効果の検討	○大津 彩	東京女子大学
P0314	恋人への依存性と架空の嫉妬場面への対処行動との 関連	○山下 倫実	十文字学園女子大学
P0315	SNS ストレスと友人関係満足感の関連における利用時 間の調整効果	○西浦 真喜子 小島 弥生	北陸大学 北陸大学
P0316	友人グループの類似性は文化普遍的か？ — 「価値類似性」と「属性類似性」に対する関係流 動性の媒介効果 —	○福島 慎太郎 伊藤 篤希	東京女子大学 大阪大学

ポスター発表 P03 第2日

P0317	子育てに関する祖父母とのコミュニケーション頻度と子育てTMS認知が主観的幸福感と夫婦関係満足度に及ぼす影響 —夫婦ペアデータを用いた検討—	○西村 太志 小山 萌実 相馬 敏彦 古谷 嘉一郎	広島国際大学 広島国際大学 広島大学 関西大学
P0318	両親の自尊感情や養育行動が中学生の子どもに与える影響 多母集団同時分析による学年間の比較検討	○西村 由貴子 清水 陽香 中島 健一郎	広島大学・日本学術振興会 西九州大学短期大学部 広島大学
P0319	中高年者の近隣関係と主観的ウェルビーイング 「家を行き来する間柄」と「互いの家族構成を知る間柄」の比較をとおして	○菅原 育子 小林 江里香	武蔵野大学 東京都健康長寿医療センター研究所
P0320	東日本大震災による原子力災害の避難者の精神的健康 —新潟県への避難者を対象として—	○元吉 忠寛 勝又 陽太郎 田村 啓子 本間 寛子	関西大学 東京都立大学 新潟県精神福祉協会 新潟県精神福祉協会
P0321	保育者・教員養成校の学生の反芻・省察が共感疲労に与える影響 (1) 学部2年次生の共感疲労の検討	○小池 はるか	東海大学
P0322	都会の若者は田舎の高齢者より対人ストレスが多いのか —個人属性と生態学的要因による対人ストレス—	○橋本 剛	静岡大学
P0323	集団を形成する感情的要素と規範的要素の探索的調査 家族の集団形成要素に着目して	○小林 智之 吉田 和樹	福島県立医科大学 医療創生大学
P0324	新参の集団成員は誰から規範を学ぶのか 評判低下が懸念される逸脱的行動意思決定における高地位者の役割	○岩谷 舟真 畑 大河 村本 由紀子	関西学院大学 東京大学 東京大学
P0325	がんや甲状腺に対する知識・態度によるセグメンテーションに応じたメッセージ効果の検証 甲状腺検査、がん検査に関する調査から	○平井 啓 山村 麻予 松村 悠子 見上 日奈子 三浦 麻子 八木 絵香 坪倉 正治 大竹 文雄	大阪大学 関西福祉科学大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学 福島県立医科大学 大阪大学
P0326	包摂性知覚が集団生産性関連変数に及ぼす影響 —縦断調査による検討—	○坂田 桐子 小宮 あすか 森永 康子	広島大学 広島大学 広島文教大学
P0327	オタクにおける集団アイデンティティ (1) オタクに対する印象の検討	○菊地 学 山本 景晴	岩手県立大学 岩手県立大学
P0328	オタクにおける集団アイデンティティ (2) オタクにおける集団アイデンティティの検討	○山本 景晴 菊地 学	岩手県立大学 岩手県立大学
P0329	複数グループメンバーシップと心理的ウェルビーイングの関係 自閉スペクトラムの調整効果に着目した検討	○後藤 伸彦 三好 智子	一橋大学 京都工芸繊維大学

ポスター発表 P03 第2日

P0330	繰り返しのある社会的ジレンマゲーム下の持続的協力の原因解明 理論モデルによる解釈を目指した検討	○成田 達樹 水野 景子 井上 裕香子 松本 良恵 清成 透子	青山学院大学 関西学院大学 安田女子大学 淑徳大学 青山学院大学
P0331	集団間の代理的な報復が生じる罰行動は向社会的罰なのか？ 外集団の個人による罰行動の主観的評価の特定	○小野田 竜一	大東文化大学
P0332	社会的ヒューリスティック仮説に基づく協利行動の促進—囚人のジレンマゲームを用いた検討—	○稲積 七美 清水 裕士	関西学院大学 関西学院大学
P0333	囚人のジレンマゲームにおけるラベルフレーミング効果の検討 日本における追試研究	○水鳥 翔伍 高橋 伸幸	北海道大学・日本学術振興会 北海道大学
P0334	社会的ジレンマ状況で他者への協力期待はどのように更新されるか	○星野 匠映 三木 毬菜 水野 景子 清水 裕士	関西学院大学 関西学院大学 関西学院大学 関西学院大学
P0335	社会的ジレンマにおけるオンラインでのコミュニケーションの効果： ごみ処理ジレンマゲームを用いて	○安藤 香織 日室 聡仁 後藤 晶 安原 彰子 笹鹿 祐司 江島 直也	奈良女子大学 NECソリューションイノベータ 明治大学 同志社大学 NECソリューションイノベータ NECソリューションイノベータ
P0336	集合的な探索における情報共有の合理性 行動実験とシミュレーションによる検討	○菅沼 秀蔵 亀田 達也	東京大学 明治学院大学
P0337	関係価値は戦争中の国に対しても融和的態度を促進するか	○福野 光輝 加藤 祐人	東北学院大学 東北学院大学
P0338	集団間代理報復における外集団視覚情報の影響—オンライン会議ツールを用いた集団間対立ゲームによる検討—	○廣瀬 周作 前村 奈央佳 中島 健一郎	広島大学 神戸市外国語大学 広島大学
P0339	上司からのネガティブ・フィードバックに対する受け手の評価が上司への信頼性、行動改善、関係変化に与える影響	○山本 圭吾 阿部 晋吾	関西大学 関西大学
P0340	労働者の情動知能の高低における組織内自尊感情とワーク・エンゲイジメント及び心身の健康との関連	○足立 邦子 山村 麻予 小田桐 良一	園田学園女子大学 関西福祉科学大学 園田学園女子大学
P0341	COVID-19 流行下における保健所管理職の業務状況と精神的健康 COVID-19 対応時の保健所管理職の労働実態 (1)	○松井 豊 高橋 幸子 島本 さと子 三木 明子 増茂 尚志	筑波大学 共立女子大学 東海大学 関西医科大学 皆藤病院
P0342	COVID-19 流行下における保健所管理職の職業性ストレスと退職意思 COVID-19 対応時の保健所管理職の労働実態 (2)	○高橋 幸子 松井 豊 島本 さと子 三木 明子 増茂 尚志	共立女子大学 筑波大学 東海大学 関西医科大学 皆藤病院



ポスター発表 P03 第2日

- |       |  |                                   |                                     |
|-------|--|-----------------------------------|-------------------------------------|
| P0343 | 「HSP」という語を用いた現象説明が持つ魅力とは何か：<br>単語分散表現とJ-LIWC2015を用いた内容バイアスの探索的検討 | ○中村 日海里                           |                                     |
| P0344 | Yahoo! 知恵袋への質問から見るHSP概念の社会的受容 その1<br>—共起ネットワーク分析を用いて—            | ○澤田 戒<br>福井 義一<br>中谷 智美           | 甲南大学<br>甲南大学<br>甲南大学                |
| P0345 | 外国関連情報への接触が国家・国民イメージに及ぼす影響<br>日本人の韓国および中国に対する国家・国民イメージ           | ○佐久間 勲                            | 文教大学                                |
| P0346 | 大学入学前のSNSでの自己情報公開と入学後の友人数の関連                                     | ○太幡 直也<br>佐藤 広英                   | 愛知学院大学<br>信州大学                      |
| P0347 | ニュースサイトにおけるコメントの影響力(1)<br>コメントの論調と社会的証明に着目して                     | ○中西 大輔<br>井川 純一<br>五百竹 亮丞<br>今井 真 | 広島修道大学<br>東北学院大学<br>広島文教大学<br>学習院大学 |
| P0348 | ニュースサイトにおけるコメントの影響力(2)<br>コメントの感情価とコメントへの注視に着目して                 | ○井川 純一<br>中西 大輔<br>今井 真<br>五百竹 亮丞 | 東北学院大学<br>広島修道大学<br>学習院大学<br>広島文教大学 |
| P0349 | インスタグラムにおける匂わせ知覚の生起メカニズム   | ○笠置 遊<br>下田 麻衣<br>西浦 真喜子          | 立正大学<br>京都ノートルダム女子大学<br>北陸大学        |
| P0350 | 客観的評価および主観的評価によるスマホの使用時間とスマホ依存傾向との関連性の違い                         | ○浏览 維音                            | 放送大学                                |

# P04ポスター発表

第2日 (9月1日) 13:00 ~ 14:30

3号館1階カフェテリア

在席責任時間 奇数番号: 13:00 ~ 13:45 偶数番号: 13:45 ~ 14:30

P0401	低年齢の子どものインターネット理解が社会性に及ぼす影響 3波縦断調査による媒介効果の検討	○松尾 由美 田島 祥 坂元 章	江戸川大学 東海大学 お茶の水女子大学
P0402	大学生の動画配信サービス利用状況 有料または無料サービスで何を、どのように視聴するのか	○正木 誠子	関東学院大学
P0403	メディア利用と日本人意識 (11) ウィズコロナ時代に必要とされるメディア利用術	○有馬 明恵 山下 玲子 志岐 裕子 藤井 達也	東京女子大学 東京経済大学 慶應義塾大学 東京経済大学
P0404	メディア利用と日本人意識 (12) 東京2020オリンピック直後のオリンピック・パラリンピックイメージと日本イメージの関係	○山下 玲子 藤井 達也 有馬 明恵 志岐 裕子	東京経済大学 東京経済大学 東京女子大学 慶應義塾大学
P0405	Message Tone's Impact on Green Product Preferences : A Comparative Study	○Boxuan Song Nobuhiko Goto	Hitotsubashi University Hitotsubashi University
P0406	日本人消費者における経験推奨現象の検証および ユーザイモニックな動機の影響	○李 楊 鈴木 風花 大平 英樹	名古屋大学 (株)豊通シスコム 名古屋大学
P0407	倫理的消費への態度と応援消費	○泉水 清志	育英短期大学
P0408	栄養ラベルが購買意欲に及ぼす影響 —Nutri-Scoreのケース—	○浅川 雅美 岡野 雅雄	文教大学 文教大学
P0409	広告の背景色とコピーの志向性がブランド態度に及ぼす影響: 寒色は新しさを、暖色は懐かしさを喚起するか?	○前田 洋光 山地 紗代	京都橘大学 京都橘大学
P0410	SNS利用者の利用意識別の特徴 —ICT利用のライフスタイル研究—	○小島 誠也 松田 美佐 鮑戸 弘	NTTドコモ 中央大学 東京大学
P0411	なぜ政治的発言は炎上するのか: ランダム化要因配置実験を用いた検討	○岡田 葦生 稲増 一憲	関西学院大学・日本学術振興会 東京大学
P0412	政治知識と党派性が陰謀論的思考に及ぼす効果	○岩渕 功 荒井 紀一郎	早稲田大学 中央大学
P0413	制度アプローチに基づく文化的自己観の検討 —排除回避傾向の共有性の観点から—	○中里 直樹 溝上 大賀	大分大学 元大分大学
P0414	文化的自己観の親子間相関と親の理想の媒介効果の 検討	○小宮 あすか 宇津山 日和	広島大学 広島大学
P0415	推しへのガチ恋はアガペ	○山岡 重行	聖徳大学

ポスター発表P04 第2日

P0416	中国における文化的自己観に関する多元的無知	○岩田 和也 山口 裕幸 清水 裕士	関西学院大学 京都橘大学 関西学院大学
P0417	雇用流動性：測定尺度の作成と国内分散の検討	○伊藤 篤希 前田 友吾 結城 雅樹	大阪大学 玉川大学 北海道大学
P0418	推し活尺度の作成および信頼性・妥当性の検証	○原口 知子 木田 豊美 高尾 あゆみ 薄 貢一郎 舟崎 智誠 押川 聖子 大塚 泰正	筑波大学 筑波大学 筑波大学 筑波大学 筑波大学 筑波大学 筑波大学
P0419	経済的苦難と災害が日本の歌詞における感情に与える影響 —過去50年間のヒット曲データを用いた時系列分析—	○増井 拓紀 宮本 百合	一橋大学 一橋大学
P0420	住居移動性が放縦・抑制の文化次元に及ぼす影響 国ごとの移動性向指標を用いた検討	○寺嶌 裕登	名古屋大学
P0421	関係流動性が成功時の誇り・羞恥表出者への評価に及ぼす影響 日米比較調査による検討	○前田 友吾 結城 雅樹	玉川大学 北海道大学
P0422	How Relational Mobility Influences Green Consumption A Cross-Cultural Study	○Yiming Zhu Masaki Yuki	Hokkaido University Hokkaido University
P0423	東洋人と西洋人の自己嫌悪の文化差についての検討	○碩 雅人	大阪公立大学
P0424	How cultural variations in moral and political disagreements influence the perception of not taking a side	○Cleone Mitsui Yuta Kawamura	Osaka Metropolitan University Osaka Metropolitan University
P0425	職場でのユーザイモニック・ウェルビーイングとソーシャル・サポートの検討 日本・台湾・英国・米国の国際分析	○Igor de Almeida 田中 康寛 黄 冠儒 内田 由紀子	京都大学 コクヨ(株) 京都大学 京都大学
P0426	職務難易度の知覚と適正給与額の判断の関係	○田中 友理 松尾 朗子	多摩大学 東京大学
P0427	通信制高校にみるコロナ禍 —教員へのインタビューに基づいて—	○與久田 巖	奈良大学
P0428	女性管理職ロールモデルが管理職昇進意欲に与える影響	○川島 千佳	東京都立大学
P0429	高齢者のスロージョギング習慣化支援を目的としたLINE対話型伴走サポートの効果	○丹野 宏昭	WizWe 習慣化研究所
P0430	中高年・シニア層のネット利用に対する社会的支援の影響 ネット利用内容に関するパネル調査データ分析	○北村 智 片桐 恵子 森 玲奈	東京経済大学 神戸大学 帝京大学
P0431	住民主体の通いの場立ち上げプログラムの実施と評価	○森 裕樹	兵庫県立大学・東京都健康長寿医療センター研究所

ポスター発表 P04 第2日

P0432	いじめに関する常套句についての言説分析的考察 「いじめという言葉は軽すぎる」論の構造	○ハッ塚 一郎	熊本大学
P0433	感覚処理感受性の高い子どもはどのような学級環境で 伸びるか —小中学生を対象にした学級の社会的目標構造による 検討—	○水野 君平 谷口 あや	北海道教育大学 三重大学
P0434	発表日程変更		
P0435	環境問題に関する認識の可視化と会話を促す方法の 検討 二次元イメージ展開法シェアリング実施後のテキスト分 析から	○園田 美保	鹿児島女子短期大学
P0436	フードシェアリングサービスの利用意図の規定因	○前田 洋枝	南山大学
P0437	河川におけるポイ捨て行動抑制のための介入実験 —山形県鶴岡市での夜間対策—	○中俣 友子 森 康浩 金子 博 大谷 明	尚綱学院大学 宮城学院女子大学 (特非) パートナーシップオフィス (特非) パートナーシップオフィス
P0438	健康観察アプリへの受容態度と文化的世界観との関連	○高木 彩 武田 美亜 今野 将	横浜国立大学 青山学院大学 千葉工業大学
P0439	完全自動運転車の利用意図について —あなたの大切な人に使わせたい?—	○北折 充隆 吉武 久美	金城学院大学 人間環境大学
P0440	なぜ緊急時の援助要請を控えるのか 119番通報抑制の実態と心理機序の検討	○木村 昌紀 塩谷 尚正 北小屋 裕	神戸女学院大学 梅花女子大学 病院前救護と健康管理研究会
P0441	なぜ人々はV Tuberのライブにリアル参加するのか シンガポールのアニメフェスティバルでの参与観察に基 づく予備的考察	○石盛 真徳 中尾 元 原田 章 長岡 千賀 Igor de Almeida 打田 篤彦 上田 真由子	追手門学院大学 追手門学院大学 追手門学院大学 追手門学院大学 京都大学 神戸大学 追手門学院大学
P0442	コミコン・コミュニティにおけるプラットフォーム性と表象 バンクーバー・ボストン・台北のFan ExpoやAnime Conでのフィールド調査	○中尾 元 石盛 真徳 原田 章 長岡 千賀 Igor de Almeida 打田 篤彦 上田 真由子	追手門学院大学 追手門学院大学 追手門学院大学 追手門学院大学 京都大学 神戸大学 追手門学院大学
P0443	地域連携におけるチームワークと地域に対する態度の 相互関係 小学校における4か月間の2時点縦断データに基づく 検討	○吉田 琢哉 吉澤 寛之 浅野 良輔	岐阜聖徳学園大学 岐阜大学 久留米大学
P0444	海外移住の動機を測定する ニュージーランドにおけるライフスタイル移住の観点から	○加藤 潤三 前村 奈央佳	立命館大学 神戸市外国語大学
P0445	どのような地域で生活すれば孤立・孤独に陥らないで すむのか	○浦 光博	追手門学院大学

ポスター発表 P04 第2日

- |       |   |                           |                           |
|-------|---|---------------------------|---------------------------|
| P0446 | 訪問観光客数と個人特性が観光地域評価に与える影響<br>マルチレベル分析による観光地としての居住地域の評価             | ○岡本 卓也                    | 信州大学                      |
| P0447 | 人材の多様性とボランティア参加意向の関連<br>地域住民の学校ボランティアへの参加意向は関わるボランティアの多様性により高まるか？ | ○奥田 麻依子<br>内田 由紀子         | 京都大学<br>京都大学              |
| P0448 | 家族樹形図療法における30年間の認識の変化   | ○高山 智                     | 青山学芸心理                    |
| P0449 | いじめ傍観行動における多元的無知（4）<br>一周囲の生徒に対する信頼感が及ぼす影響—                       | ○有倉 巳幸<br>稲垣 勉<br>神山 貴弥   | 鹿児島大学<br>京都外国語大学<br>同志社大学 |
| P0450 | リーダーの暗黙理論がチームマネジメントに与える影響<br>成員の努力経験の分野に着目して                      | ○鈴木 啓太<br>佐藤 旺介<br>村本 由紀子 | 東京大学<br>東京大学<br>東京大学      |

発表者索引

発表者索引

(太字は責任発表者)

- D**  
de Almeida, Igor **P0425** P0441 P0442
- G**  
Goto, Nobuhiko P0405
- H**  
Hübner, Gundula O0201
- K**  
Kawamura, Yuta P0424  
Kim, Nahyun **O0103**  
Krueger, Frank O0405
- M**  
Mitsui, Cleone **P0424**
- Q**  
Qin, Mujun **O1502**
- S**  
Song, Boxuan **P0405**
- T**  
Tam, Kim-Pong O0201
- Y**  
Yuki, Masaki P0422
- Z**  
Zhang, Jia Wei P0104  
Zhu, Yiming **P0422**
- あ  
秋山 隆 O1203  
秋山 知也 **O0203**  
飽戸 弘 O1801 O1802 P0410  
浅川 雅美 **P0408**  
浅野 良輔 O0205 **O0604** P0443  
朝比奈 遼 **P0135**  
麻生 奈央子 O0502 **P0208**  
足立 邦子 **P0340**  
安達 未来 **O1503**  
安部 主晃 P0124 P0127  
阿部 晋吾 **P0241** P0339  
阿部 夏希 P0124 P0127  
阿部 修士 O0901 P0124 P0127  
天野 陽一 **P0311**  
荒井 紀一郎 P0412  
新井 さくら **O1603**  
有馬 明恵 **P0403** P0404  
有馬 淑子 O0501  
安藤 香織 O0201 **P0335**  
安念 保昌 **P0109**
- い  
李 受珉 **P0124** P0127  
五百竹 亮丞 P0347 P0348  
五十嵐 祐 O0104 **O0802** O0902  
P0102  
五十嵐 洋 P0232  
井川 純一 P0347 **P0348**  
池内 裕美 **O1203**  
池田 まさみ P0132  
池田 蓮人 **P0240**  
伊崎 翼 **P0112** P0114  
石井 敬子 O0603 P0143  
石井 辰典 **O0401** P0108
- 石川 真 **P0304**  
石黒 格 **P0231**  
石原 暢 O0102 O1604  
石原 英樹 O0402  
石原 瞳 **P0224**  
石盛 真徳 **P0441** P0442  
磯部 智加衣 **P0228**  
伊藤 篤希 P0316 **P0417**  
伊藤 君男 P0150  
伊藤 健一 O0604  
伊藤 颯希 **P0131**  
稲垣 勉 WS01 **P0234** P0449  
稲積 七美 **P0332**  
稲増 一憲 P0411  
井上 裕香子 **O1601** P0330  
今井 真 P0347 P0348  
入江 駿 **P0133**  
岩田 和也 **P0416**  
岩谷 舟真 **P0324**  
岩淵 功 **P0412**  
う  
植 穂奈美 O0202 O0501  
上島 淳史 WS02  
上田 皐介 **O0602**  
上田 真由子 P0441 P0442  
薄 貢一郎 P0418  
打田 篤彦 P0441 P0442  
内田 由紀子 O0601 O1605 O1803  
P0425 P0447  
宇津山 日和 P0414  
浦 光博 **P0445**  
え  
江島 直也 P0335  
袁 麗娜 **O0804**  
遠藤 美南 P0107
- お  
王 詩頤 **O1301**  
汪 明琛 **O0102** O0405  
大江 朋子 P0135 P0137 **P0138**  
大久保 暢俊 **P0203**  
大倉 韻 O0502  
太田 紘史 P0220  
太田 仁 P0250  
大竹 文雄 P0325  
大谷 明 P0437  
大津 彩 **P0313**  
大塚 泰正 P0418  
大塚 祐多 **O1803**  
大坪 快 **O0304**  
大坪 寛子 O0502  
大友 章司 **O1201**  
大沼 進 O0201 O0202 O0501  
大橋 恵 **P0219**  
大平 英樹 P0406  
岡 隆 SY01 P0139 P0211  
岡田 葦生 **P0411**  
岡田 陽介 **O0505**  
岡野 雅雄 P0408  
岡本 卓也 **P0446**  
小川 一美 P0239
- 奥田 麻依子 **P0447**  
小倉 加奈代 O1703  
尾崎 拓 **P0110**  
尾崎 由佳 WS01  
押川 聖子 P0418  
小田桐 良一 P0340  
小野島 昂洋 P0101  
小野田 竜一 **P0331**  
小山 萌実 P0317
- か  
賈 琴 **P0118**  
柿沼 亨祐 **P0121**  
柿本 航哉 **O1202**  
柿本 敏克 **O0301**  
笠置 遊 **P0349**  
柏原 宗一郎 **O0303**  
片桐 恵子 O0103 O1303 P0430  
勝又 陽太郎 P0320  
桂田 恵美子 P0214  
加藤 樹里 **P0115**  
加藤 潤三 **P0444**  
加藤 祐人 P0337  
金子 博 P0437  
金田 宗久 **P0150**  
金政 祐司 P0104 **P0308**  
亀岡 優輔 **P0225**  
亀田 達也 O0203 O1103 P0336  
唐沢 かおり SY01 O1302  
唐沢 穰 SY01 O1003  
川上 直秋 O0105 P0149  
川上 正浩 P0218  
川口 周一郎 **P0247**  
河口 陽菜 **O1004**  
川島 千佳 **P0428**  
川嶋 伸佳 **P0223**  
河村 悠太 P0131 P0247 P0248  
神原 歩 O0201  
神原 広平 P0124 P0127
- き  
木川 智美 **P0242**  
菊地 学 **P0327** P0328  
岸 ひなた **P0235**  
木田 豊美 P0418  
北折 充隆 **P0439**  
北神 慎司 P0116  
北小屋 裕 P0440  
北村 智 **P0430**  
北村 英哉 O1202 O1301  
鬼頭 美江 **O0402** O0403 O0404  
木原 なな O0202  
木村 昌紀 **P0440**  
木村 玲欧 O1201  
清河 幸子 P0249  
清成 透子 O1601 P0330  
清野 幸歩 **P0108**  
く  
楠見 孝 **O1703**  
沓澤 岳 P0112  
工藤 恵理子 **P0137** P0138 P0226  
工藤 大介 **O1704**



発表者索引

- 中西 大輔 O0302 O1402 O1403  
**P0347** P0348
- 永延 佳那子 **O1602**  
長濱 憲 **O0503**  
中俣 友子 **P0437**  
中村 日海里 **P0343**  
中谷内 一也 **O1701** O1702  
中山 真孝 O0601  
中分 遥 O0403 **O0404**  
棗田 みな美 **O1403**  
成田 達樹 **P0330**
- に
- 新井田 恵美 **P0140**  
新谷 優 **P0246**  
西浦 真喜子 **P0315** P0349  
西川 一二 O1703  
西田 公昭 P0225  
西村 太志 **P0317**  
西村 由貴子 **P0318**
- ぬ
- 沼崎 誠 P0145 P0202 **P0213**  
P0237
- の
- 野谷 風花 P0236
- は
- 朴 ゴウン **P0143**  
朴 建映 **P0202**  
橋本 敬 O1502  
橋本 剛 P0250 **P0322**  
橋本 博文 O1102 O1304 O1602  
橋本 萌那 WS02  
長谷川 オリバ O1001  
長谷川 孝治 **P0105** P0142 P0226  
畑 大河 P0324  
八田 紘和 O0901  
花木 伸行 O1103  
濱田 龍 **P0142**  
早瀬 良 P0124 P0127  
原口 知子 **P0418**  
原田 章 P0441 P0442  
原田 知佳 **P0103**  
原田 瑞穂 **O0902**
- ひ
- 費 思怡 **P0149**  
樋口 収 P0140  
肥田 美桜和 P0238  
一言 英文 O0604  
日比野 愛子 **O0605**  
日道 俊之 P0112 **P0114**  
日室 聡仁 P0335  
平井 啓 **P0325**  
平島 太郎 **O0104** O0802  
平野 寛樹 **O0603**  
平山 陽菜 **P0249**  
廣瀬 周作 **P0338**
- ふ
- 黄 冠儒 P0425  
福井 義一 P0217 P0344  
福沢 愛 O1303  
福島 治 **O1501**
- 福島 慎太郎 O1605 **P0316**  
福野 光輝 **P0337**  
藤井 達也 P0403 P0404  
藤川 真子 **O1402**  
渕上 維音 **P0350**  
舟崎 智誠 P0418  
古川 善也 **P0113**  
古里 由香里 P0105  
古谷 嘉一郎 P0105 P0317  
古橋 麻衣 O0605
- ほ
- 星野 匠映 **P0334**  
細川 亜佐子 **P0116**  
本郷 亜維子 **P0134**  
本間 寛子 P0320
- ま
- 前田 楓 O1102 **O1304** O1602  
前田 洋枝 **P0436**  
前田 洋光 P0235 **P0409**  
前田 友吾 P0417 **P0421**  
前場 康介 P0108  
前村 奈央佳 P0338 P0444  
牧野 幸志 **P0227**  
正木 誠子 **P0402**  
眞嶋 良全 **P0123**  
増井 啓太 **P0310**  
増井 拓紀 **P0419**  
増田 匡裕 **O0702**  
増茂 尚志 P0341 P0342  
松井 暉 WS02  
松井 豊 **P0341** P0342  
松尾 朗子 **P0120** P0133 P0426  
松尾 由美 **P0401**  
松下 光次郎 O0205  
松田 哲也 O0102 O1604  
松田 美佐 P0410  
松村 悠子 P0325  
松本 良恵 O1104 P0330  
馬目 蓉子 O1302
- み
- 三浦 麻子 O0703 O0704 O1703  
**P0222** P0325  
見上 日奈子 P0325  
三木 明子 P0341 P0342  
三木 毬菜 **O1101** P0334  
水鳥 翔伍 **P0333**  
水野 一成 **O1802**  
水野 君平 **P0433**  
水野 景子 **O0703** P0330 P0334  
溝上 大賀 P0413  
三石 宏大 **P0248**  
光永 悠彦 P0102  
水口 真希 **P0205**  
箕浦 有希久 P0106  
宮川 裕基 **P0104** P0306 P0308  
宮崎 弦太 **P0128**  
宮崎 美保 **P0229**  
宮下 達哉 P0211  
宮本 康司 P0132  
宮本 聡介 P0147
- 宮本 百合 P0419  
三好 智子 P0329
- む
- 向居 暁 **P0107**  
向井 智哉 P0120  
武藤 麻美 **P0214**  
村上 幸史 **P0141**  
村上 史朗 **P0129**  
村田 光二 **P0302**  
村畑 茄那 O0301  
村本 由紀子 P0205 P0324 P0450  
村山 綾 P0107 **P0215**
- も
- 本西 泰三 O1804  
元吉 忠寛 **P0320**  
森 久美子 **P0236**  
森 津太子 **P0132** P0134 P0137  
P0138
- 森 裕樹 **P0431**  
森 康浩 P0437  
森 隆太郎 **O1103**  
森 玲奈 P0430  
森下 雄輔 P0306  
森田 賢 O1803  
森永 康子 P0326  
森屋 恵里 P0125
- や
- 八木 絵香 P0325  
矢澤 順根 **P0148**  
保高 徹生 O0202  
安野 智子 **O0504**  
安原 彰子 P0335  
八ッ塚 一郎 **P0432**  
柳澤 邦昭 **O0901** P0124 P0127  
P0207  
P0244
- 山 祐嗣 P0244  
山岡 重行 **P0415**  
山形 伸二 O0602  
山口 裕幸 P0416  
山崎 瑞紀 P0125  
山地 紗代 P0409  
山下 倫実 **P0314**  
山下 玲子 P0403 **P0404**  
山田 順子 O0102 O0402 **O0403**  
O0404 O1604
- 山田 梨央 **P0106**  
山田 怜生 **P0102**  
山村 麻予 P0325 P0340  
山本 晶友 **O0803**  
山本 景晴 P0327 **P0328**  
山本 圭吾 **P0339**  
山本 佳祐 O1102  
山本 琢俣 P0107  
山本 真菜 **P0139**
- ゆ
- 結城 雅樹 P0417 P0421  
有倉 巳幸 **P0449**
- よ
- 與久田 巖 **P0427**  
横井 良典 O1701 **O1702**



## 発表者索引

横田 晋大 O1402 O1403  
吉澤 寛之 SY01 **O0205** P0443  
吉田 綾乃 **P0136**  
吉田 和樹 P0323  
吉田 琢哉 O0205 O0802 **P0443**  
吉田 夏月 **P0245**  
吉田 峻人 P0123  
吉武 久美 P0439  
吉村 麻美 O0405  
吉村 斉 **P0312**  
リ  
李 禕飛 **P0145** P0202 P0213  
李 述水 O0405  
李 楊 O1704 **P0406**  
林 萍萍 **P0126**  
わ  
若井 大成 **O0701**  
渡部 麻美 **P0305**  
渡邊 克巳 O0401  
渡邊 寧 **O0601**



日本社会心理学会第 65 回大会 賛助団体 御芳名

【広告・展示】

株式会社有斐閣  
株式会社誠信書房  
株式会社北樹出版  
株式会社ちとせプレス  
株式会社北大路書房  
株式会社講談社  
株式会社創元社  
福村出版株式会社  
株式会社ナカニシヤ出版  
株式会社風間書房  
株式会社日本能率協会総合研究所  
教育情報出版  
MDPI Japan G.K.  
株式会社クロス・マーケティング  
アイブリッジ株式会社

(敬称略, 申込順)

大会を開催するにあたり, 上記各企業・団体より多大なご支援をいただきました。  
ここにその御芳名を記して, 心から感謝の意を表します。

2024 年 7 月  
日本社会心理学会第 65 回大会準備委員会

# JSSP 2024

日本社会心理学会

## 日本社会心理学会第 65 回大会 準備委員会

委員長 岡 隆  
事務局長 坂本 真士

委員 木村 敦  
堀川 佑惟  
宮下 達哉  
山本 真菜

ロゴデザイン 宮本 佳子(追手門学院大学)

### 日本社会心理学会第 65 回大会プログラム

発行日 2024 年 7 月 31 日  
発行者 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40  
日本大学文理学部  
日本社会心理学会第 65 回大会準備委員会